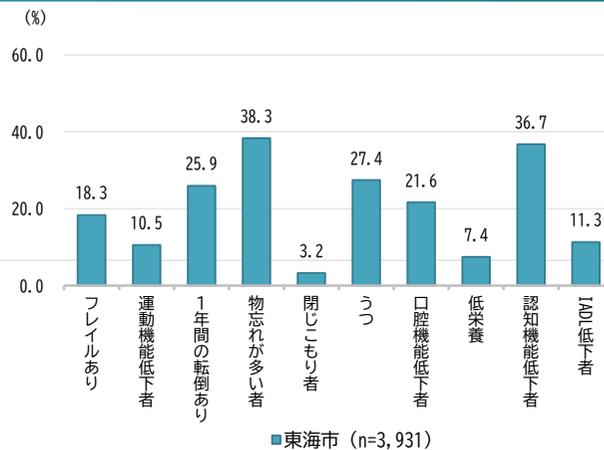
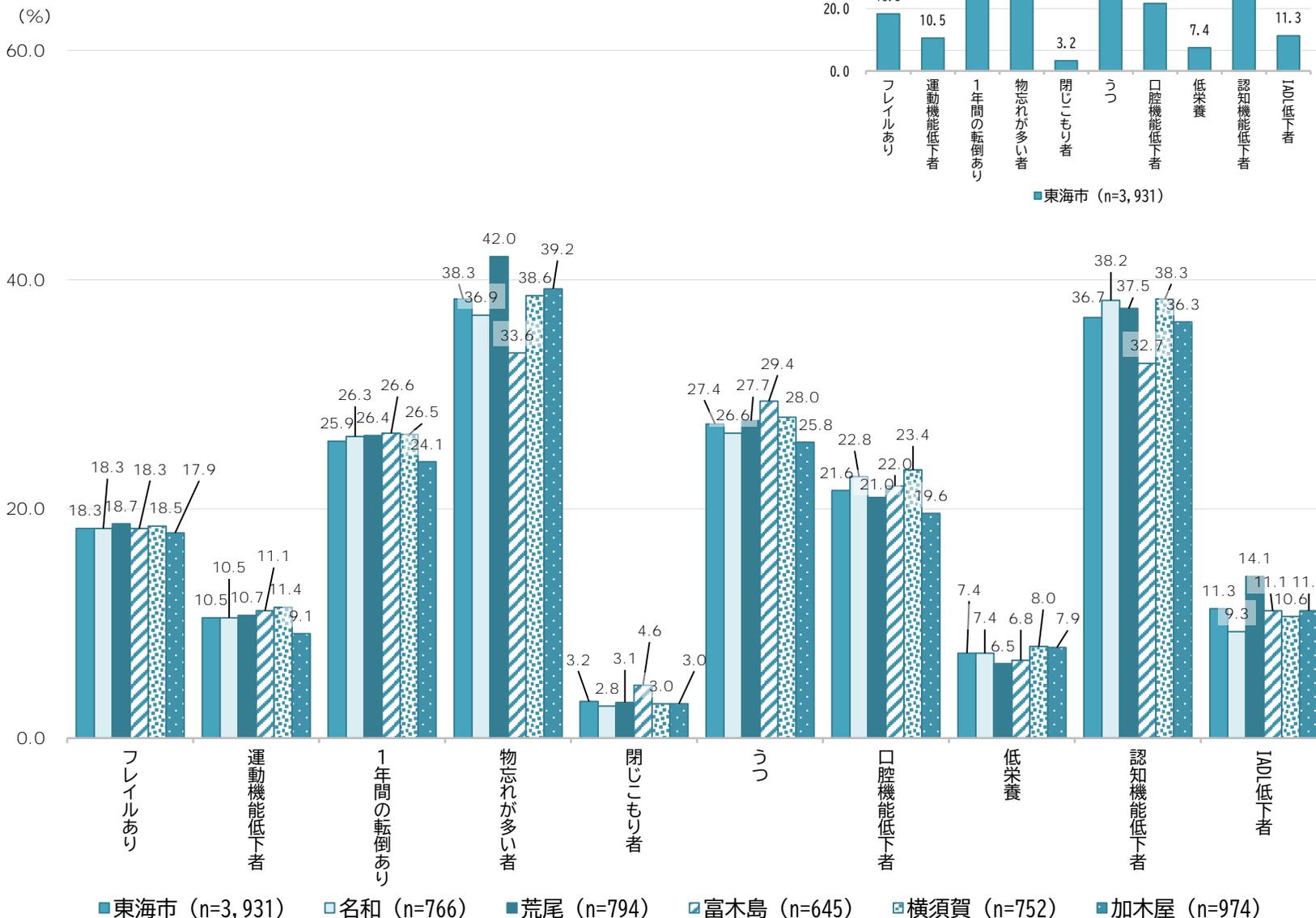


知多北部広域連合
健康とくらしの調査報告書
結果概要 再分析

令和5年8月

要介護リスクの状況(東海市)

東海市・日常生活圏域別



□ 東海市の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が38.3%、「認知機能低下者」が36.7%、「うつ」が27.4%、「1年間の転倒あり」が25.9%、「口腔機能低下者」が21.6%、「フレイルあり」が18.3%、「IADL低下者」が11.3%、「運動機能低下者」が10.5%、「低栄養」が7.4%、「閉じこもり者」が3.2%となっている。

□ 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、荒尾が42.0%で最も高くなっており、最も低い富木島(33.6%)と比較して8.4ポイントの差がある。

□ 「認知機能低下者」を圏域別にみると、横須賀が38.3%で最も高くなっており、最も低い富木島(32.7%)と比較して5.6ポイントの差がある。

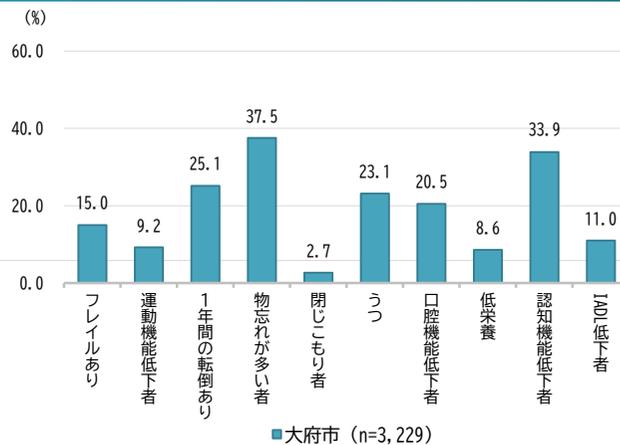
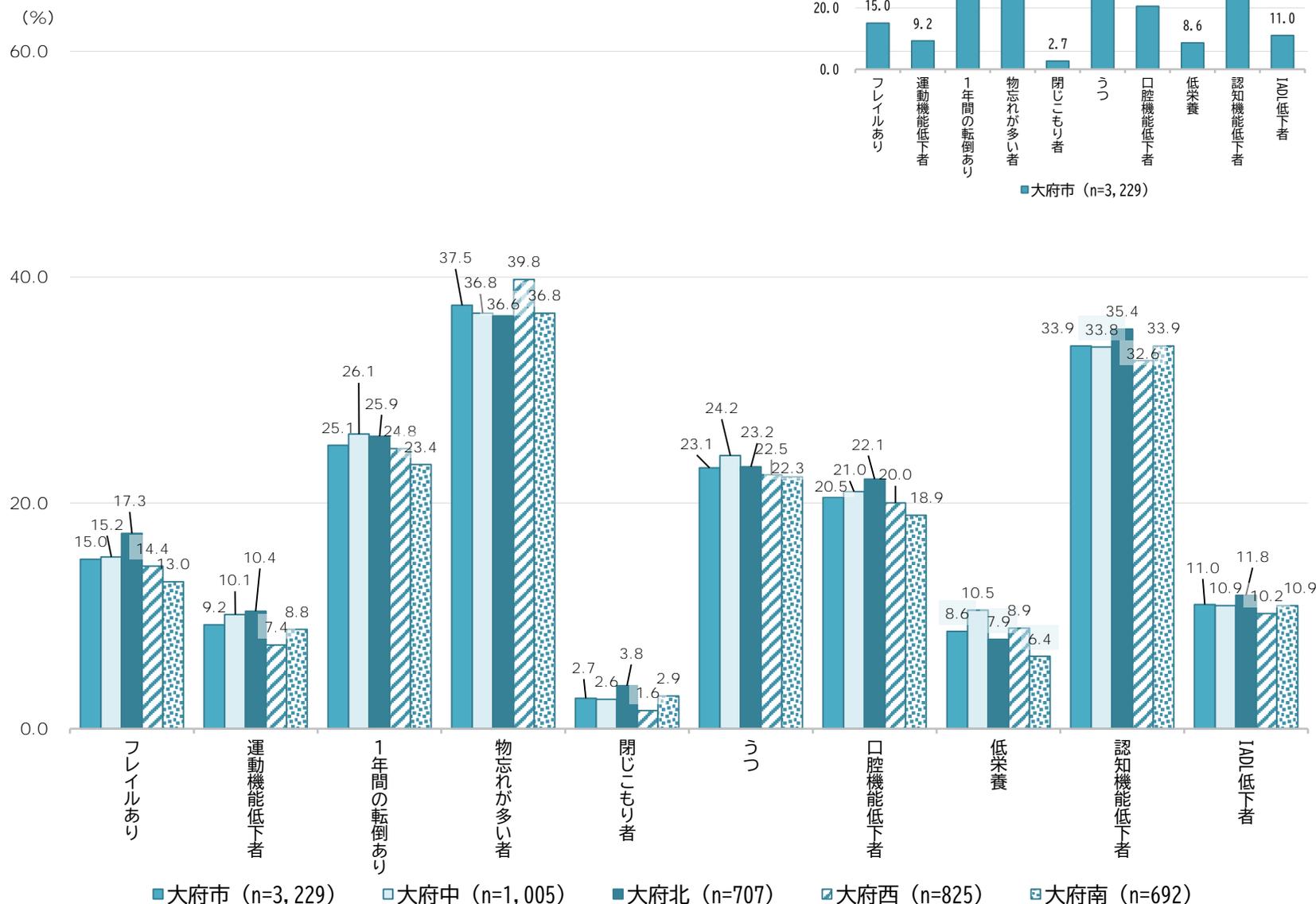
□ 「うつ」を圏域別にみると、富木島が29.4%で最も高くなっており、最も低い加木屋(25.8%)と比較して3.6ポイントの差がある。

□ 「フレイルあり」について、東海市では前回調査結果が22.3%であり、今回調査(18.3%)は前回より4.0ポイント下回っている。

□ 「フレイルあり」を圏域別にみると、荒尾が18.7%で最も高くなっており、最も低い加木屋(17.9%)と比較して0.8ポイントの差であり、圏域で大きな差は見られなかった。

要介護リスクの状況(大府市)

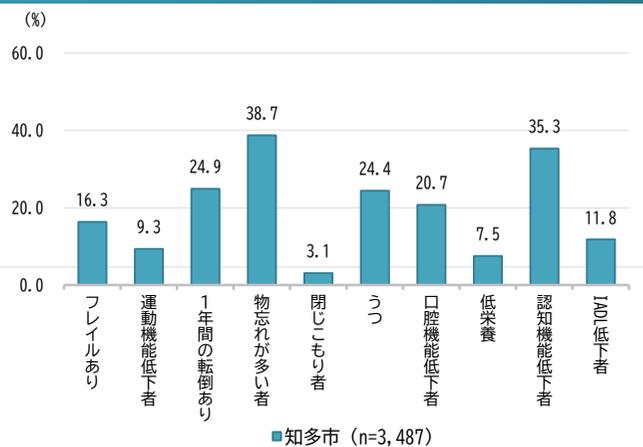
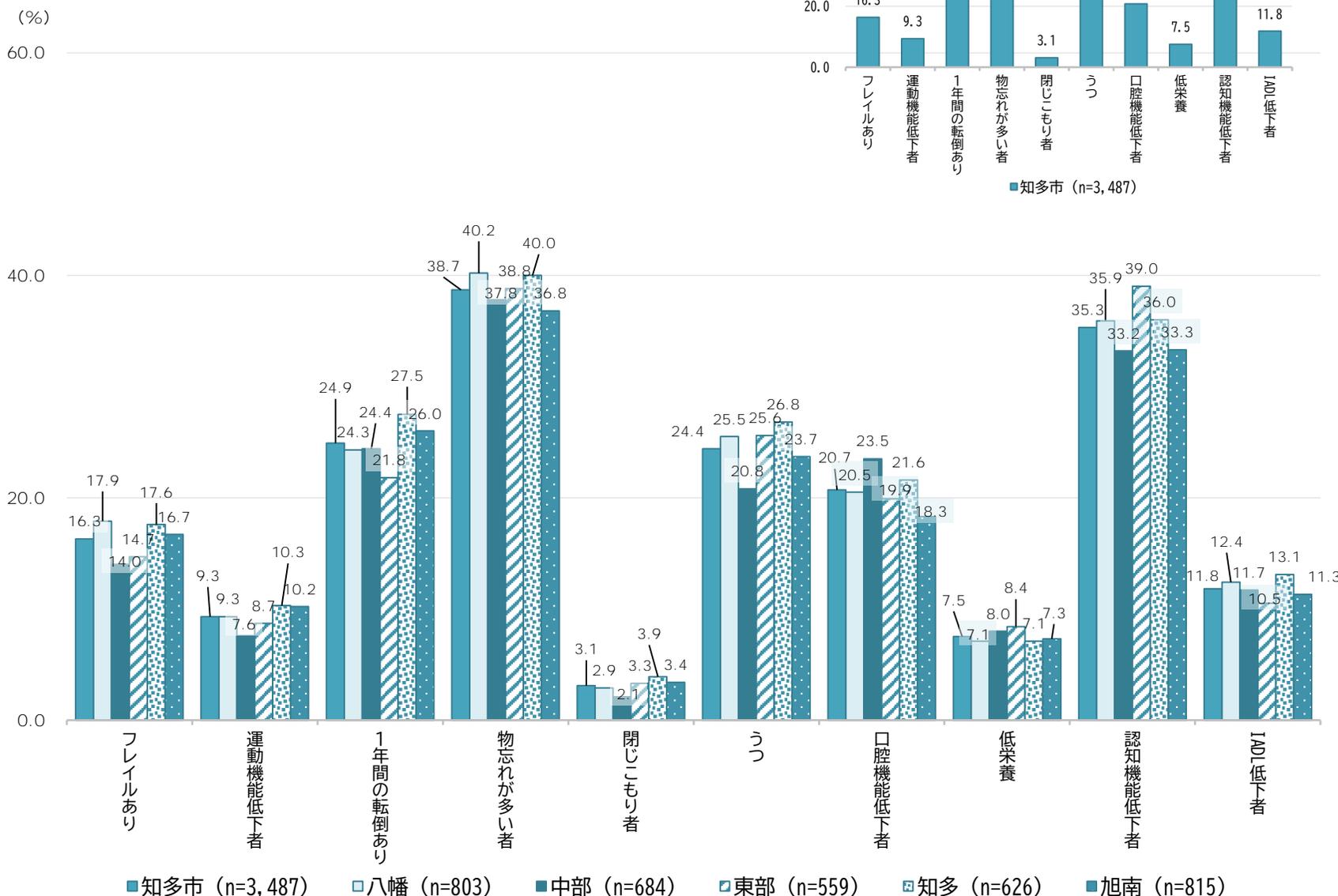
大府市・日常生活圏域別



- 大府市の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が37.5%、「認知機能低下者」が33.9%、「1年間の転倒あり」が25.1%、「うつ」が23.1%、「口腔機能低下者」が20.5%、「フレイルあり」が15.0%、「IADL低下者」が11.0%、「運動機能低下者」が9.2%、「低栄養」が8.6%、「閉じこもり者」が2.7%となっている。
- 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、大府西が39.8%で最も高くなっており、最も低い大府北（36.6%）と比較して3.2ポイントの差がある。
- 「認知機能低下者」を圏域別にみると、大府北が35.4%で最も高くなっており、最も低い大府西（32.6%）と比較して2.8ポイントの差がある。
- 「1年間の転倒あり」を圏域別にみると、大府中が26.1%で最も高くなっており、最も低い大府南（23.4%）と比較して2.7ポイントの差がある。
- 「フレイルあり」について、大府市では前回調査結果が18.0%であり、今回調査（15.0%）は前回より3.0ポイント下回っている。
- 「フレイルあり」を圏域別にみると、大府北が17.3%で最も高くなっており、最も低い大府南（13.0%）と比較して4.3ポイントの差がある。

要介護リスクの状況(知多市)

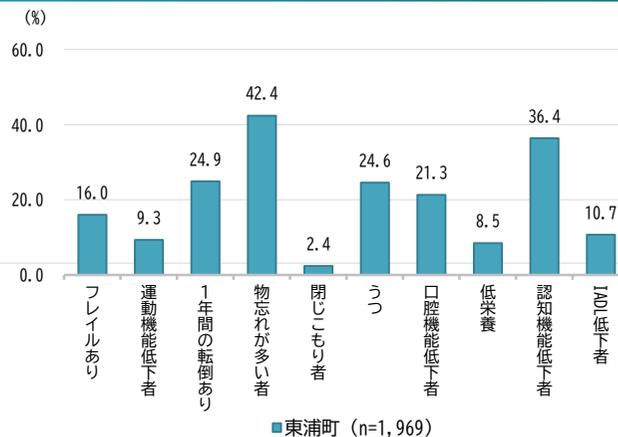
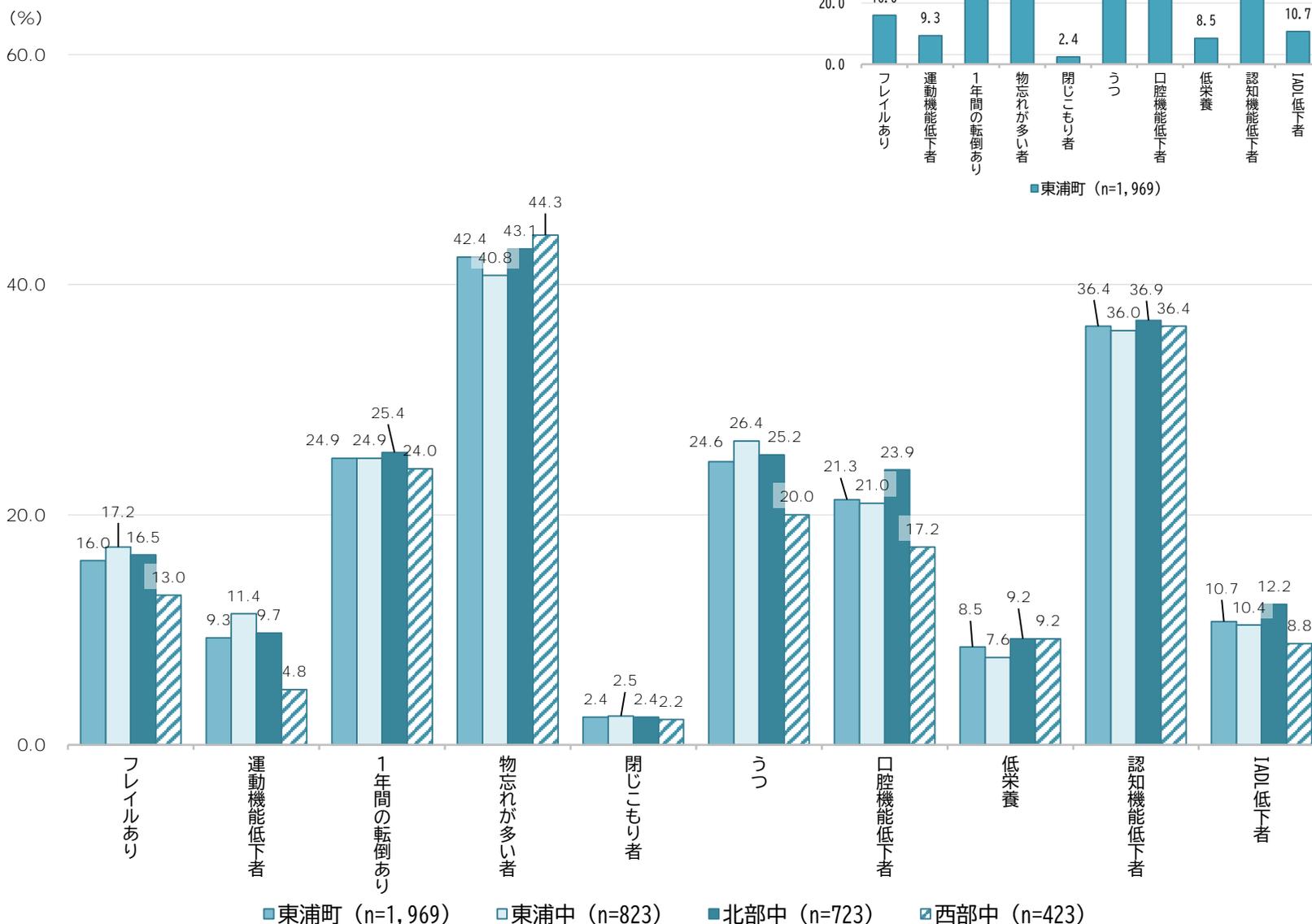
知多市・日常生活圏域別



- 知多市の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が38.7%、「認知機能低下者」が35.3%、「1年間の転倒あり」が24.9%、「うつ」が24.4%、「口腔機能低下者」が20.7%、「フレイルあり」が16.3%、「IADL低下者」が11.8%、「運動機能低下者」が9.3%、「低栄養」が7.5%、「閉じこもり者」が3.1%となっている。
- 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、八幡が40.2%で最も高くなっており、最も低い旭南（36.8%）と比較して3.4ポイントの差がある。
- 「認知機能低下者」を圏域別にみると、東部が39.0%で最も高くなっており、最も低い中部（33.2%）と比較して5.8ポイントの差がある。
- 「1年間の転倒あり」を圏域別にみると、知多が27.5%で最も高くなっており、最も低い東部（21.8%）と比較して5.7ポイントの差がある。
- 「フレイルあり」について、知多市では前回調査結果が20.6%であり、今回調査（16.3%）は前回より4.3ポイント下回っている。
- 「フレイルあり」を圏域別にみると、八幡が17.9%で最も高くなっており、最も低い中部（14.0%）と比較して3.9ポイントの差がある。

要介護リスクの状況(東浦町)

東浦町・日常生活圏域別



□ 東浦町の要介護リスクの状況は、高い順に「物忘れが多い者」が42.4%、「認知機能低下者」が36.4%、「1年間の転倒あり」が24.9%、「うつ」が24.6%、「口腔機能低下者」が21.3%、「フレイルあり」が16.0%、「IADL低下者」が10.7%、「運動機能低下者」が9.3%、「低栄養」が8.5%、「閉じこもり者」が2.4%となっている。

□ 「物忘れが多い者」を圏域別にみると、西部中が44.3%で最も高くなっており、最も低い東浦中（40.8%）と比較して3.5ポイントの差がある。

□ 「認知機能低下者」を圏域別にみると、北部中が36.9%で最も高くなっており、最も低い東浦中（36.0%）と比較して0.9ポイントの差がある。

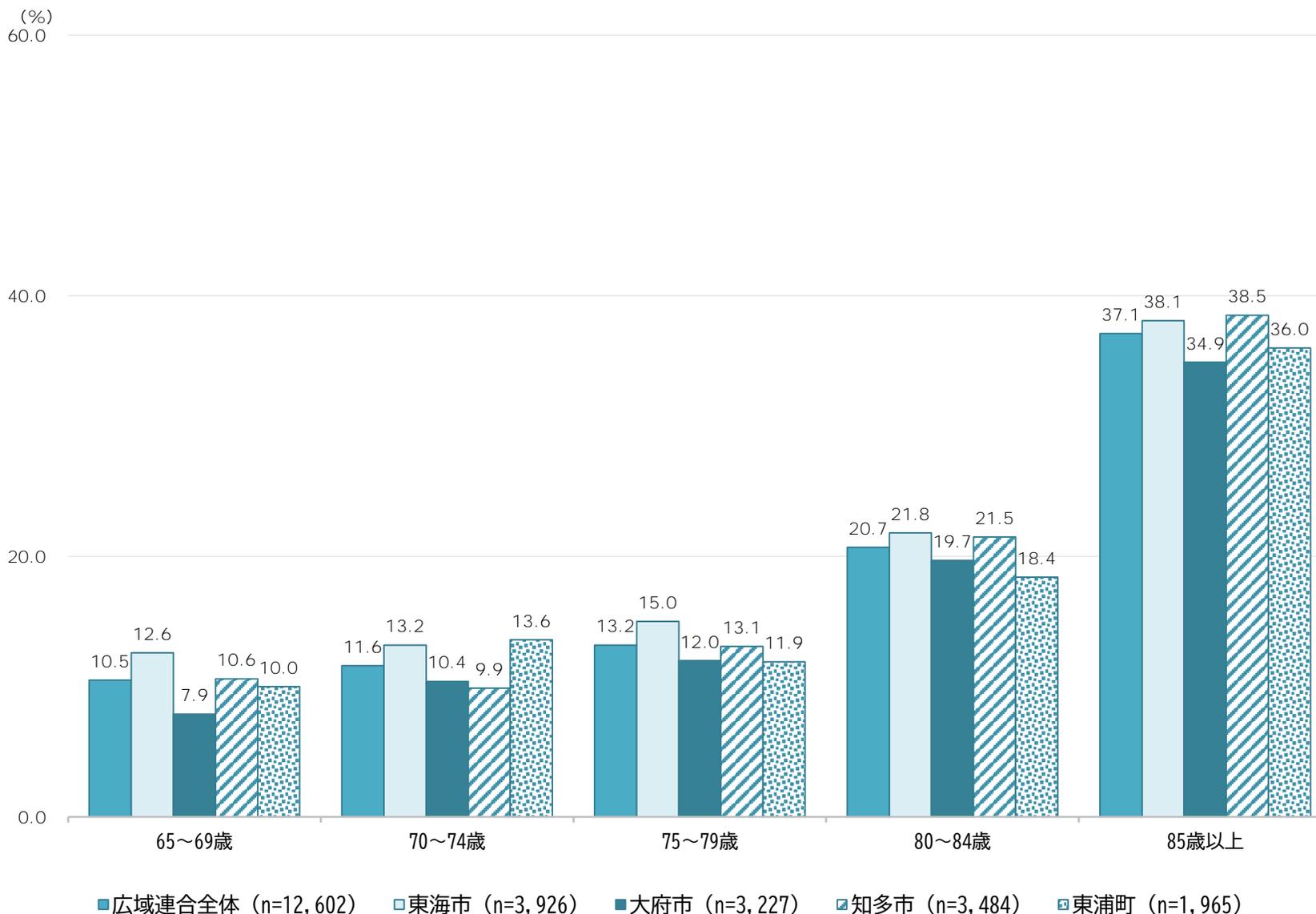
□ 「1年間の転倒あり」を圏域別にみると、北部中が25.4%で最も高くなっており、最も低い西部中（24.0%）と比較して1.4ポイントの差がある。

□ 「フレイルあり」について、東浦町では前回調査結果が18.4%であり、今回調査（16.0%）は前回より2.4ポイント下回っている。

□ 「フレイルあり」を圏域別にみると、東浦中が17.2%で最も高くなっており、最も低い西部中（13.0%）と比較して4.2ポイントの差がある。

要介護リスクの状況 年齢別

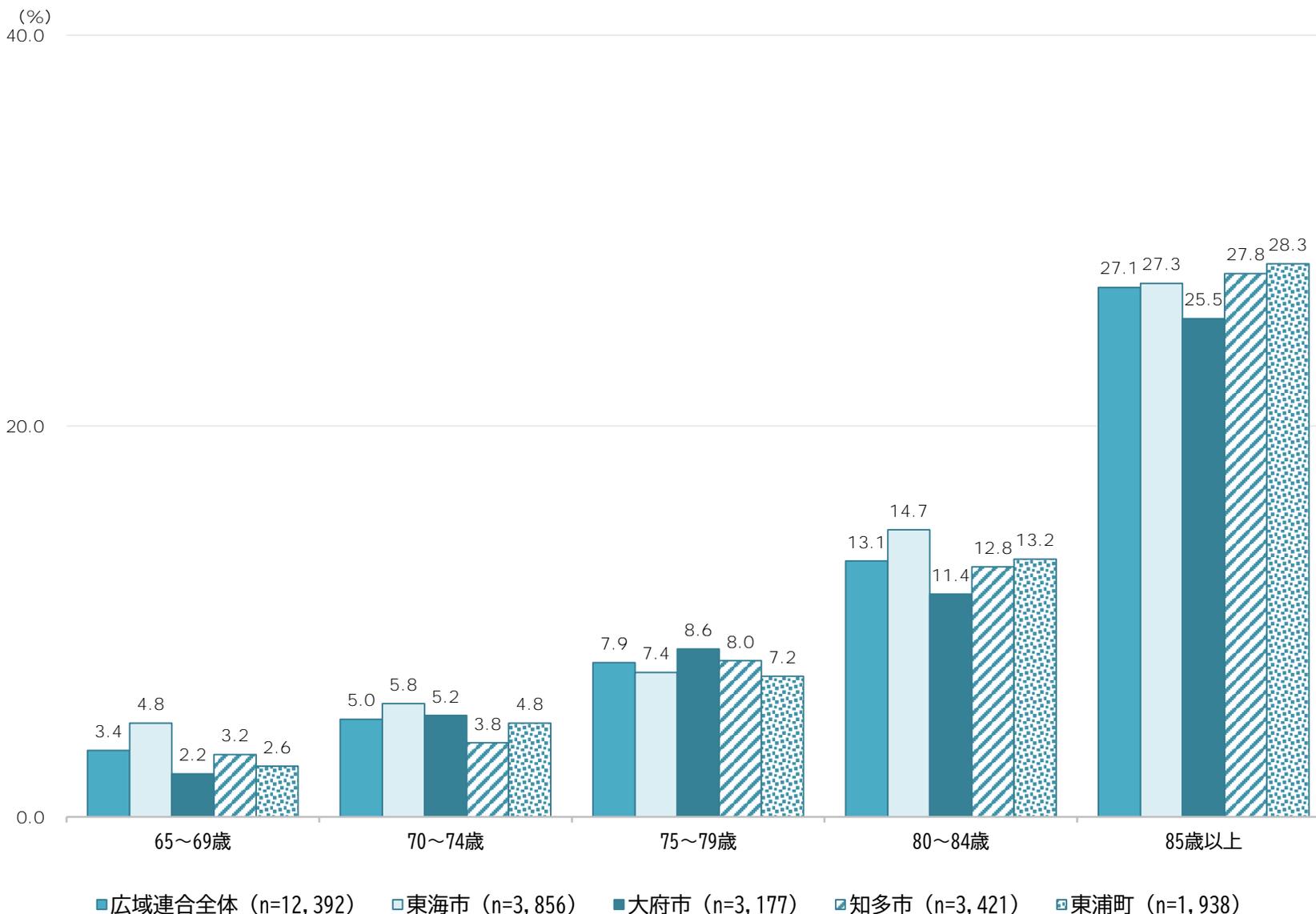
フレイルあり者 年齢別



- 「フレイルあり割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、「65-69歳」では10.5%だが、「85歳以上」では37.1%と26.6ポイントの差がある。
- 各市町も同様の傾向であり、「80歳以降」から顕著に増加している。
- 東海市は、どの年代も知多北部広域連合より高くなっている。
- 大府市は、どの年代も知多北部広域連合を下回っており、「65-69歳」は顕著に低くなっている。
- 知多市は、「80歳以上」になると、知多北部広域連合より高くなっている。
- 東浦町は、「70-74歳」が、知多北部広域連合より高くなっており、他市町よりも高くなっている。また、他の年代は知多北部広域連合より低くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

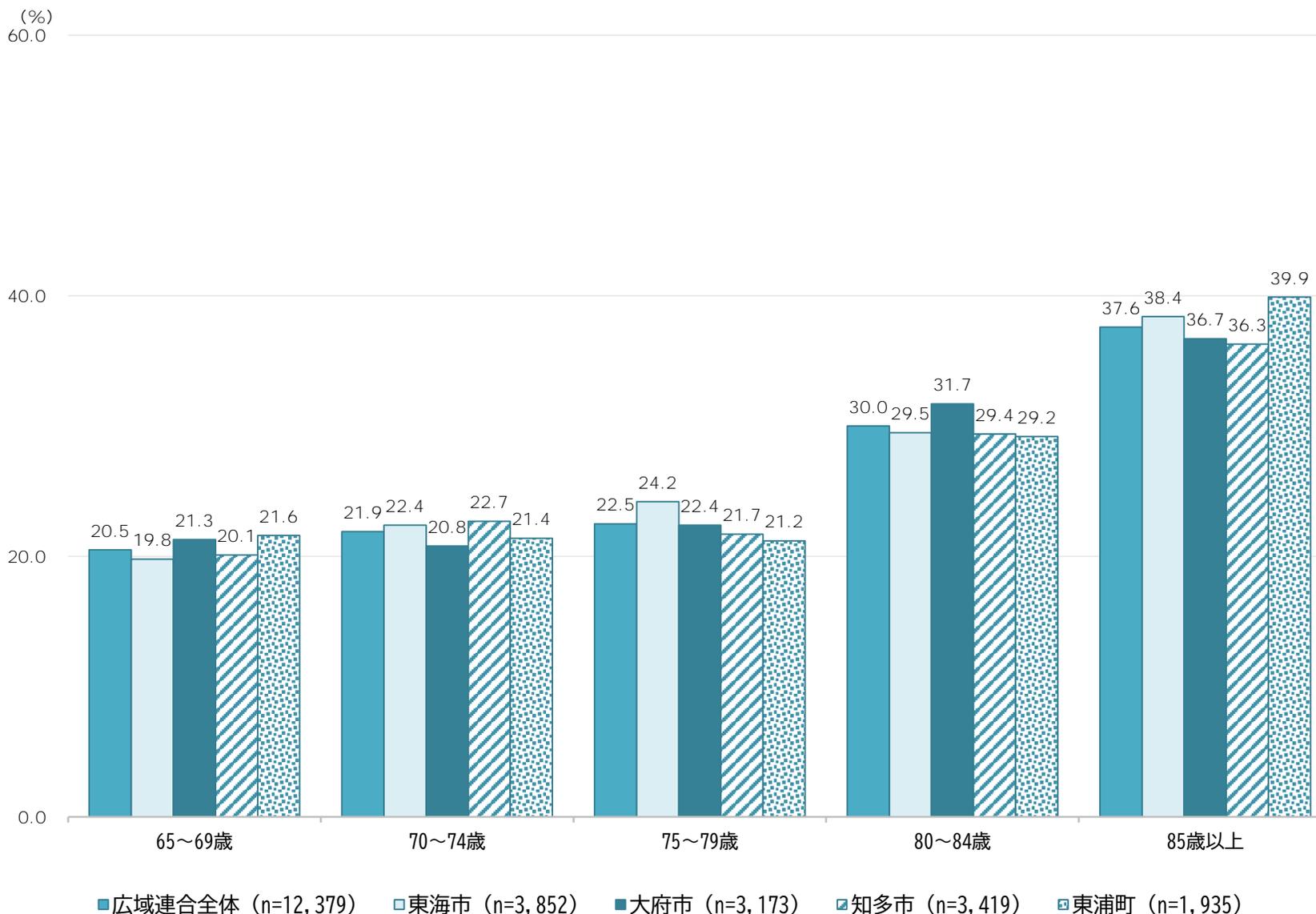
運動機能低下者 年齢別



- 「運動機能低下者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、「65-69歳」では3.4%だが、「85歳以上」では27.1%と23.7ポイントの差がある。
- 各市町も同様の傾向であり、「80歳以降」から顕著に増加している。
- 東海市は、「75-79歳」を除く年代で、知多北部広域連合より高くなっている。
- 大府市は、「80歳以上」が知多北部広域連合及び他市町より低くなっている。
- 知多市は、「70-74歳」が知多北部広域連合及び他市町より低くなっている。
- 東浦町は、「65歳-79歳」は、知多北部広域連合より低くなっているが、「80歳以上」になると知多北部広域連合より高くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

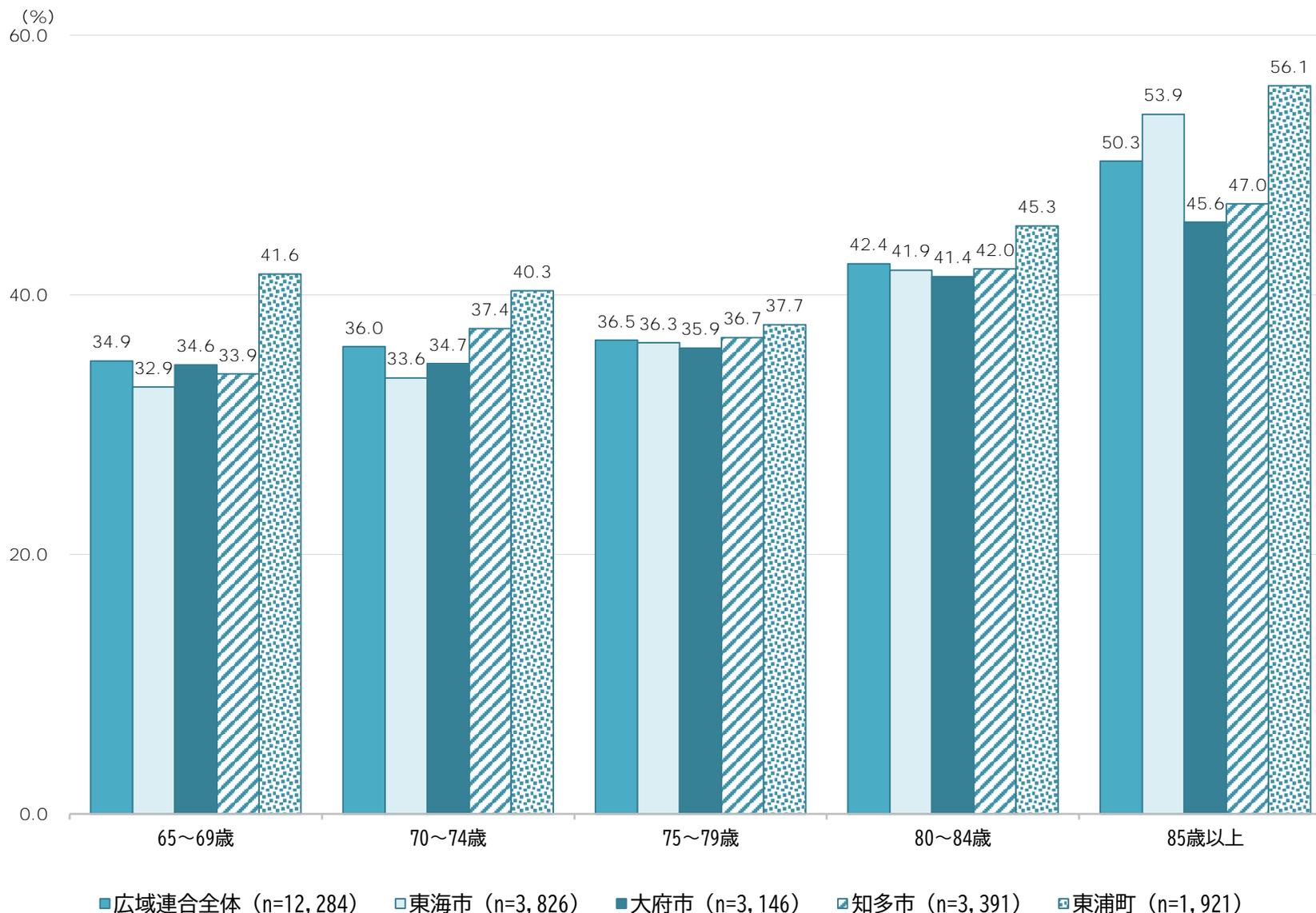
1年間の転倒あり 年齢別



- 「1年間の転倒あり割合」を知多北部広域連合年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、65～69歳では20.5%だが、85歳以上では37.6%と17.1ポイントの差がある。
- 各市町も同様の傾向であり、「80歳以降」では顕著に増加している。
- 東海市は、「75-79歳」は、知多北部広域連合より、やや高くなっている。
- 大府市は、「80-84歳」が知多北部広域連合及び他市町より、高くなっている。
- 知多市は、「70-74歳」が知多北部広域連合及び他市町より高くなっており、「85歳以上」は、低くなっている。
- 東浦町は、「85歳以上」で知多北部広域連合及び各市町よりも高くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

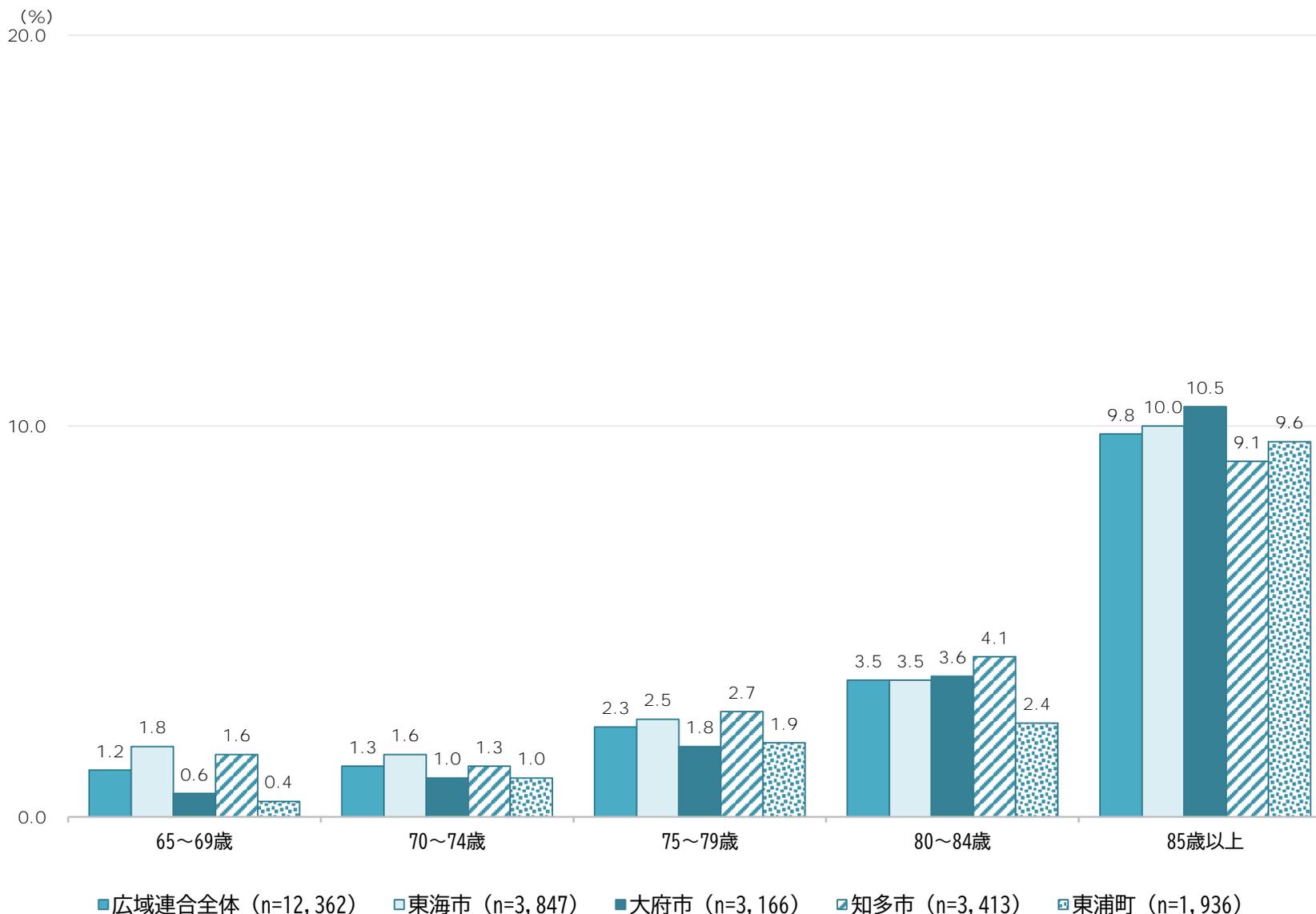
物忘れが多い者 年齢別



- 「物忘れが多い者の割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、65~69歳では34.9%だが、85歳以上では50.3%と15.4ポイントの差がある。
- 東浦町を除く、各市町も同様の傾向であり、「80歳以降」では顕著に増加している。
- 東海市は、「85歳以上」になると知多北部広域連合より高くなる。
- 大府市は、どの年代でも知多北部広域連合を下回っており、「85歳以上」は顕著に低くなっている。
- 知多市は、「84歳まで」はほぼ広域連合と同様の傾向を示しているが、「85歳以上」は、知多北部広域連合に比べて、顕著に低くなっている。
- 東浦町は、「65-74歳」と「80歳以降」割合が高く、他市町とは違う傾向を示している。どの年代も知多北部広域連合及び、各市町を上回っているが、特に「65-74歳」が顕著に高くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

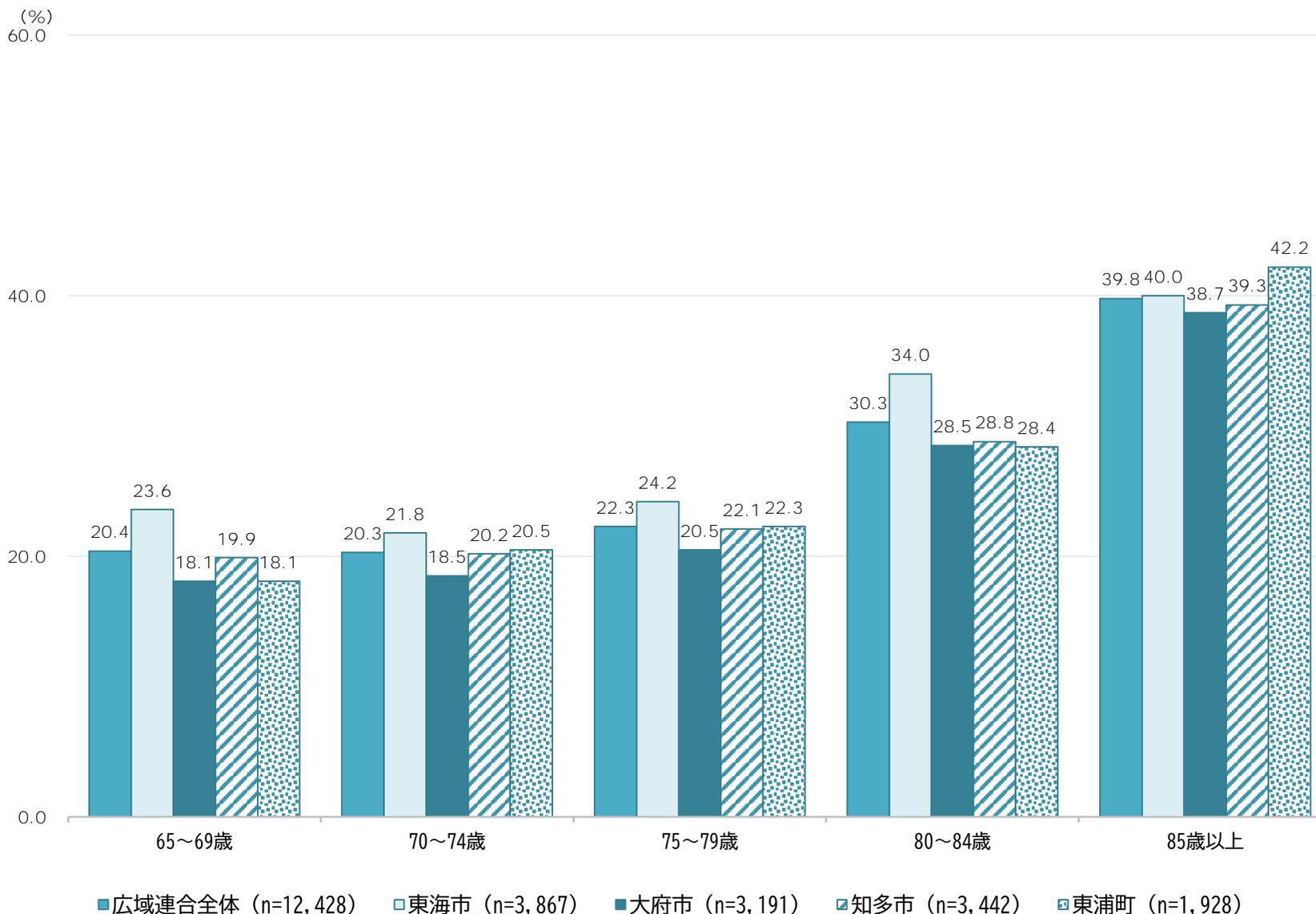
閉じこもり者 年齢別



- 「閉じこもり者の割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、65~69歳では1.2%だが、85歳以上では9.8%と8.6ポイントの差がある。
- 各市町も同様の傾向であり、「85歳以上」になると、顕著に高くなっている。東海市、知多市については、「70~74歳」で一度下降し、年齢が上がるにつれ増加傾向である。
- 東海市は、どの年代も知多北部広域連合より高い又は同等となっている。
- 大府市は、「79歳まで」は、知多北部広域連合より低くなっているが、「80歳以上」になると、知多北部広域連合より高くなっている。
- 知多市は、「80~84歳」で広域連合より高くなっており、「85歳以上」では低くなっている。
- 東浦町は、どの年代も知多北部広域連合より低くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

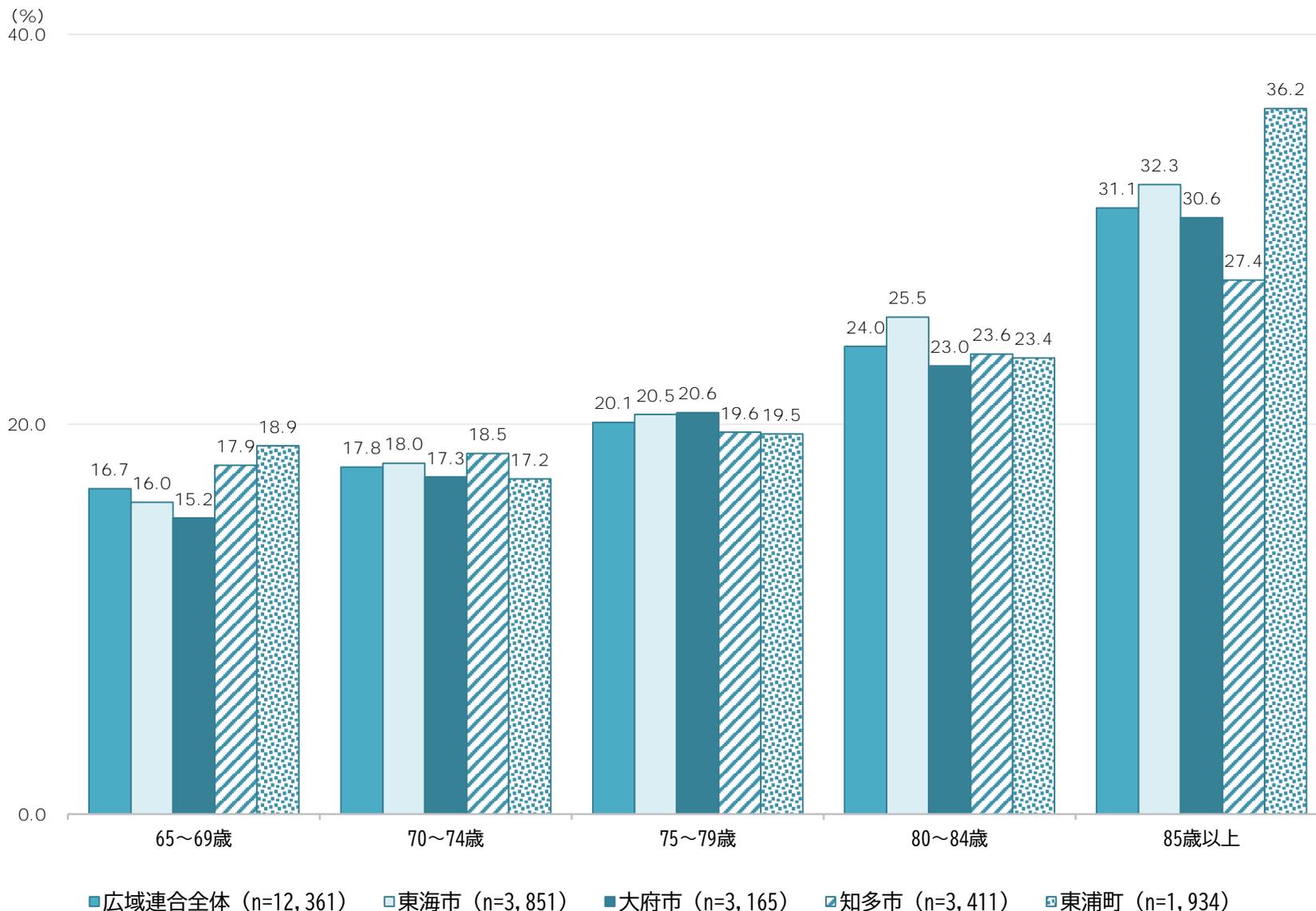
うつ 年齢別



- 「うつ割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合がおおむね高くなる傾向があり、65～69歳では20.4%だが、85歳以上では39.8%と19.4ポイントの差がある。
- 各市町も同様の傾向であり、「80歳以降」では顕著に高くなっている。
- 東海市では、「70～74歳」で一度下降するが、以降は年齢が高くなるにつれて、高くなっている。どの年代も知多北部広域連合より高く、「65～84歳まで」はどの市町よりも高い。
- 大府市は、どの年代も知多北部広域連合及び各市町より、低い又は同等となっている。
- 知多市は、どの年代もほぼ知多北部広域連合と同等であるが、「80～84歳」でやや低くなっている。
- 東浦町は、「85歳以上」が、知多北部広域連合より高く、「65～69歳」では、やや低くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

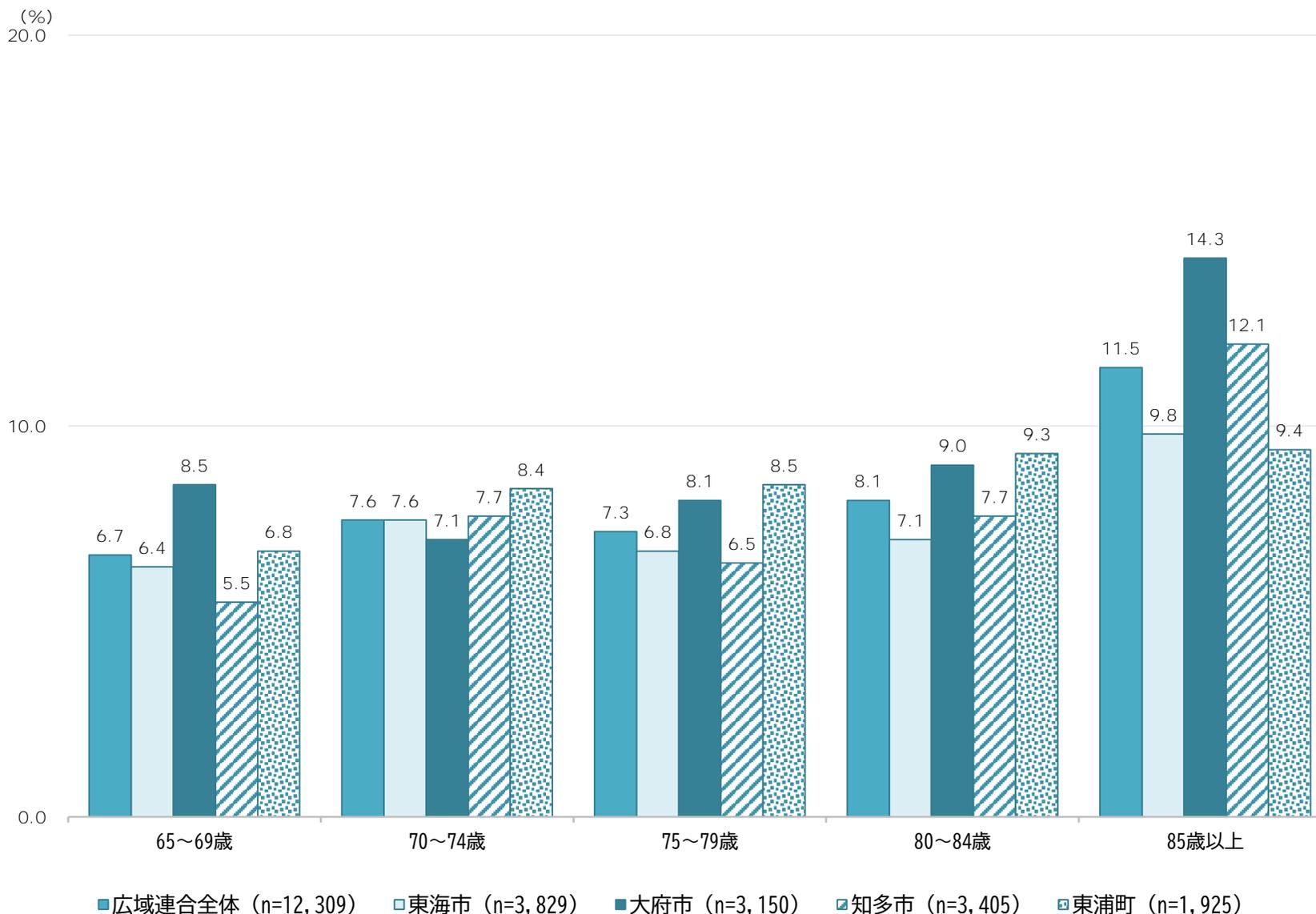
口腔機能低下者 年齢別



- 「口腔機能低下者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、65~69歳では16.7%だが、85歳以上では31.1%と14.4ポイントの差がある。
- 各市町も同様の傾向であり、「80歳以降」では顕著に増加している。
- 東海市は、「70歳以降」で、広域連合より高くなっている。
- 大府市は、「75-79歳」を除く年代では、知多北部広域連合を下回っている。
- 知多市は、特に「65-69歳」で、知多北部広域連合より高くなっている。また、「85歳以上」では、知多北部広域連合及び他市町より、顕著に低くなっている。
- 東浦町は、「65-69歳」、「85歳以上」で、知多北部広域連合及び他市町より顕著に高くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

低栄養 年齢別



□ 「低栄養の傾向割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合がおおむね高くなる傾向があり、65～69歳では6.7%だが、85歳以上では11.5%と4.8ポイントの差がある。

□ 東浦町は、年齢にともない緩やかに上昇するが、他の市町は、「85歳以上」になると急激に上昇する。

□ 東海市は、全ての年代で知多北部広域連合より低い又は同等となっている。特に「85歳以上」では顕著に低くなっている。

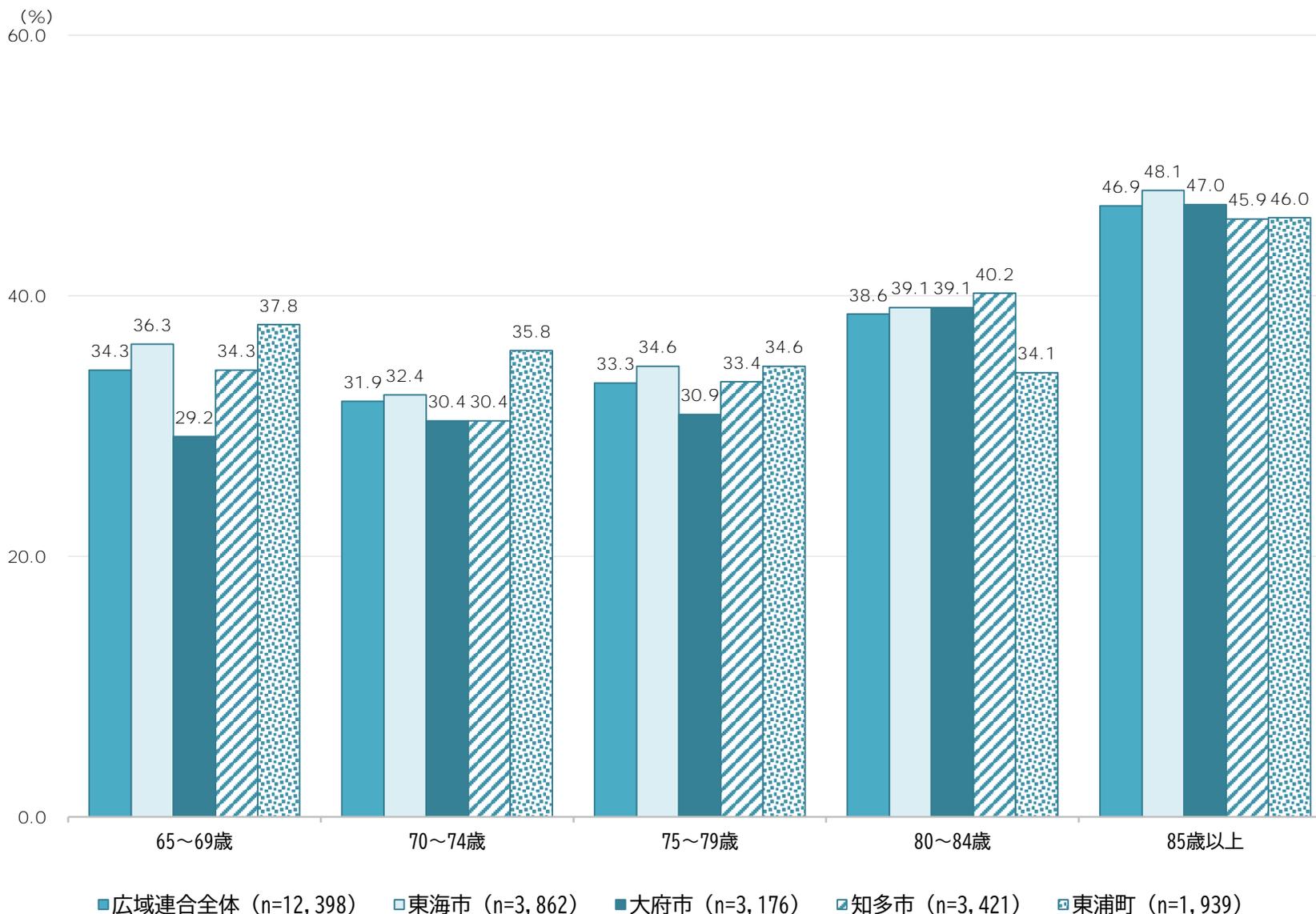
□ 大府市は、「65-69歳」、「85歳以上」で知多北部広域連合及び各市町より顕著に高くなっている。

□ 知多市は、「65-69歳」は、知多北部広域連合及び他市町より低くなっている。

□ 東浦町は、「84歳まで」は、知多北部広域連合より高く、「85歳以上」では、知多北部広域連合及び各市町より低くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

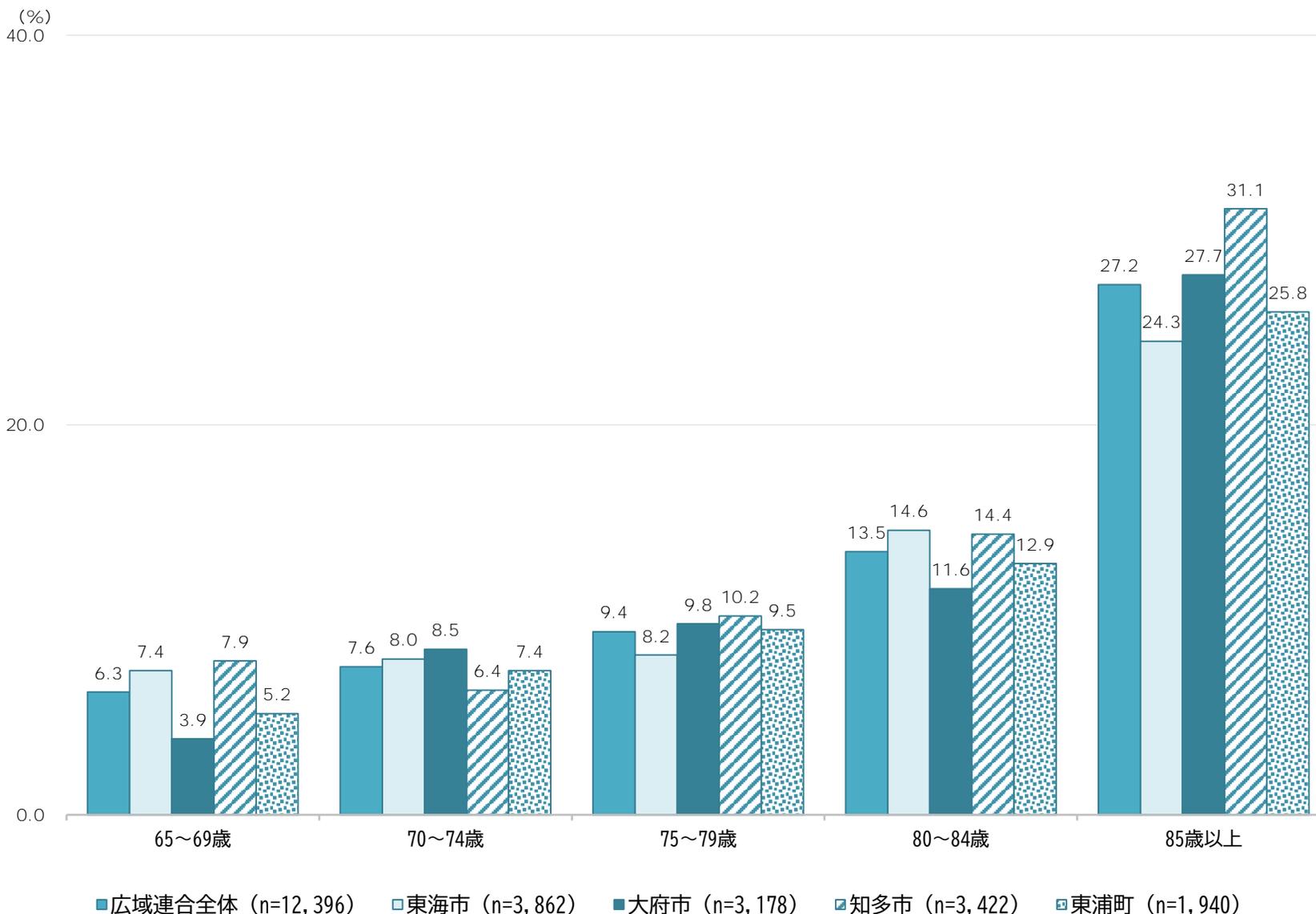
認知機能低下者 年齢別



- 「認知機能低下者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「70~74歳」で一度減少し、以後は年齢が上がるとともに増加傾向である。「70~74歳」では31.9%と最も低く、最も高い「85歳以上」では46.9%と15.0ポイントの差がある。
- 東海市と知多市は、知多北部広域連合と同様の傾向であるが、大府市と東浦町は違う傾向である。どの市町も「85歳以上」で増加が大きい。
- 東海市は、各年代で知多北部広域連合に比べて高い。
- 大府市は、「65~69歳」で、知多北部広域連合及び各市町より顕著に低くなっている。
- 知多市は、ほぼ、知多北部広域連合と同等となっている。
- 東浦町は、「65歳~79歳」で知多北部広域連合及び各市町より、高い、又は同等となっている。「80~84歳」で、顕著に低くなっている。

要介護リスクの状況 年齢別

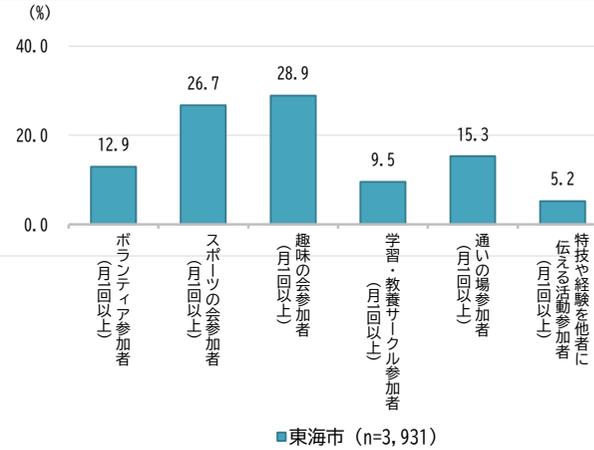
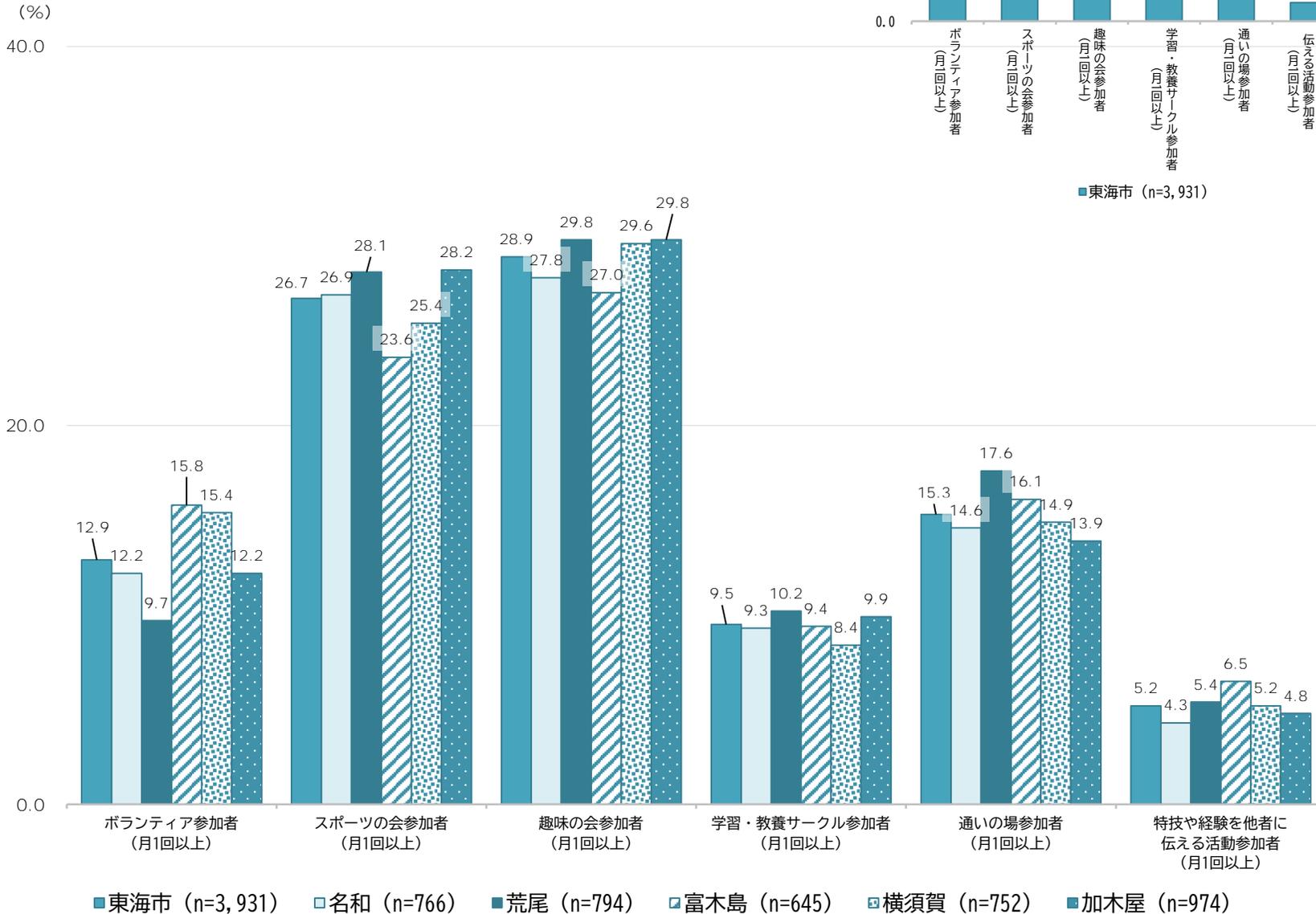
IADL低下者 年齢別



- 「IADL低下者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、年齢が上がるにつれて該当割合が高くなり、65~69歳では6.3%だが、85歳以上では27.2%と20.9ポイントの差がある。
- 各市町もほぼ同様の傾向であり、「85歳以上」では顕著に高くなっている。
- 東海市は、「85歳以上」で知多北部広域連合及び各市町より低くなっている。
- 大府市は、「65-69歳」で知多北部広域連合及び各市町より低くなっている。
- 知多市は、「85歳以上」で知多北部広域連合及び各市町より顕著に高くなっている。
- 東浦町は、どの年代も知多北部広域連合より低くなっており、特に、「65-69歳」、「85歳以上」が低くなっている。

社会参加の状況(東海市)

東海市・日常生活圏域別



東海市の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が28.9%、「スポーツの会参加者」が26.7%、「通いの場参加者」が15.3%、「ボランティア参加者」が12.9%、「学習・教育サークル参加者」が9.5%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が5.2%となっている。

「趣味の会参加者」を圏域別にみると、荒尾、加木屋が29.8%で最も高くなっており、最も低い富木島(27.0%)と比較して2.8ポイントの差がある。

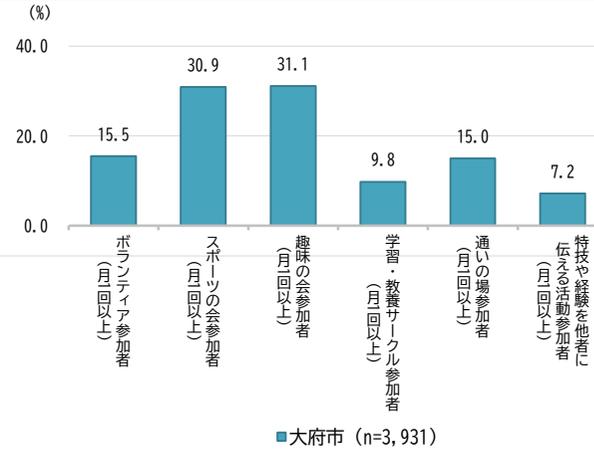
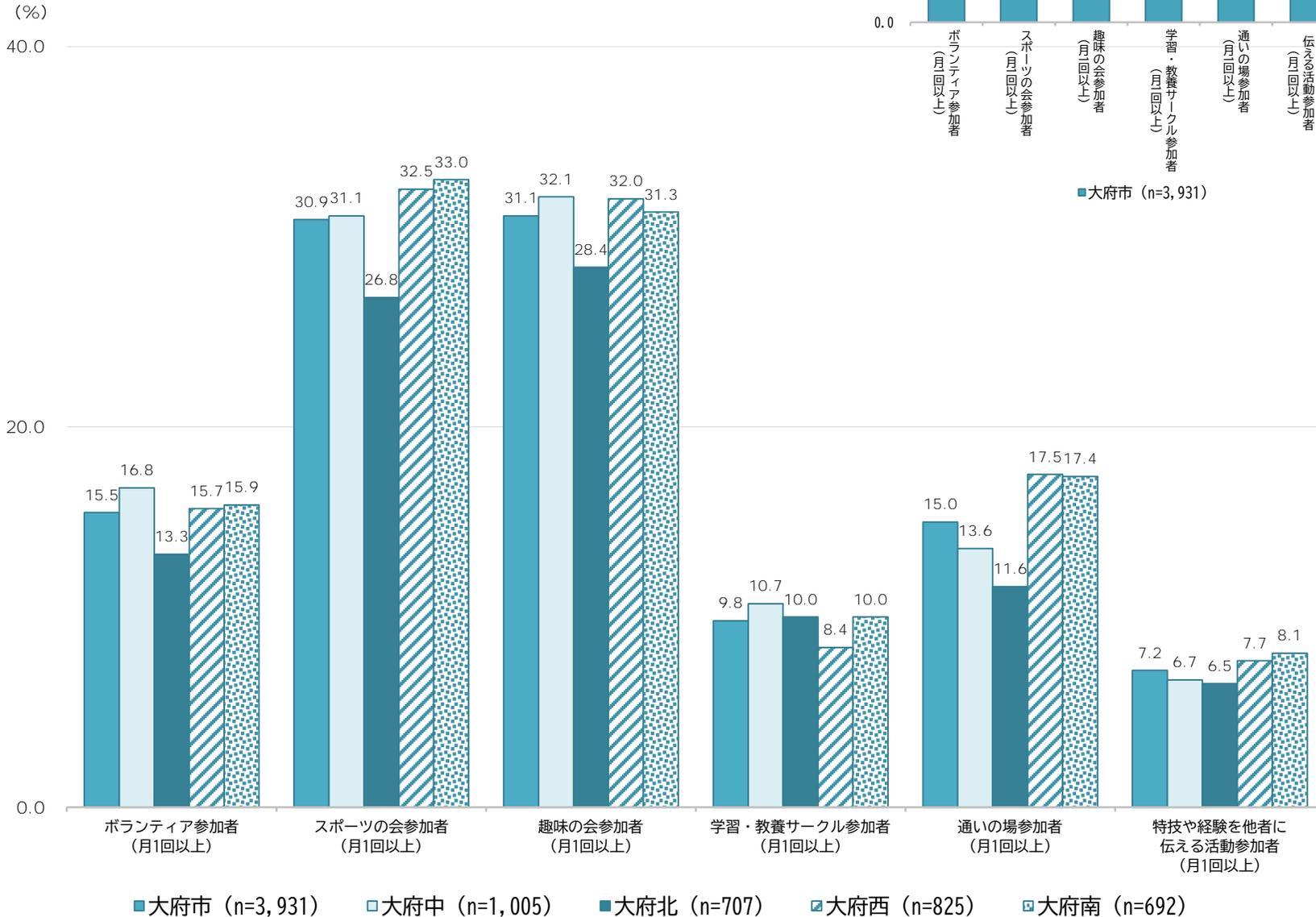
「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、加木屋が28.2%で最も高くなっており、最も低い富木島(23.6%)と比較して4.6ポイントの差がある。

「通いの場参加者」を圏域別にみると、荒尾が17.6%で最も高くなっており、最も低い加木屋(13.9%)と比較して3.7ポイントの差がある。

「通いの場参加者」について、東海市では前回調査結果が15.0%であり、今回調査(15.3%)は前回より0.3ポイント上回っている。

社会参加の状況(大府市)

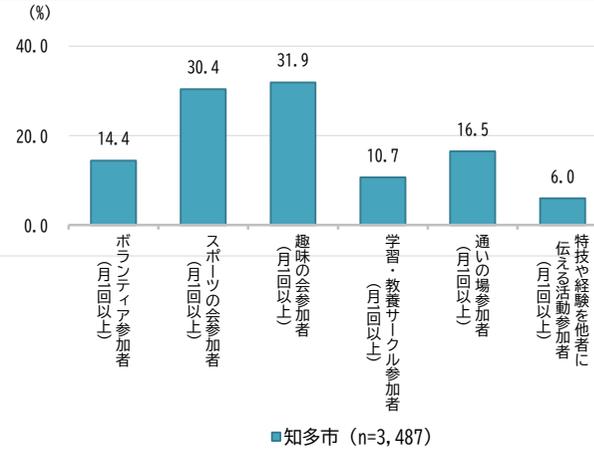
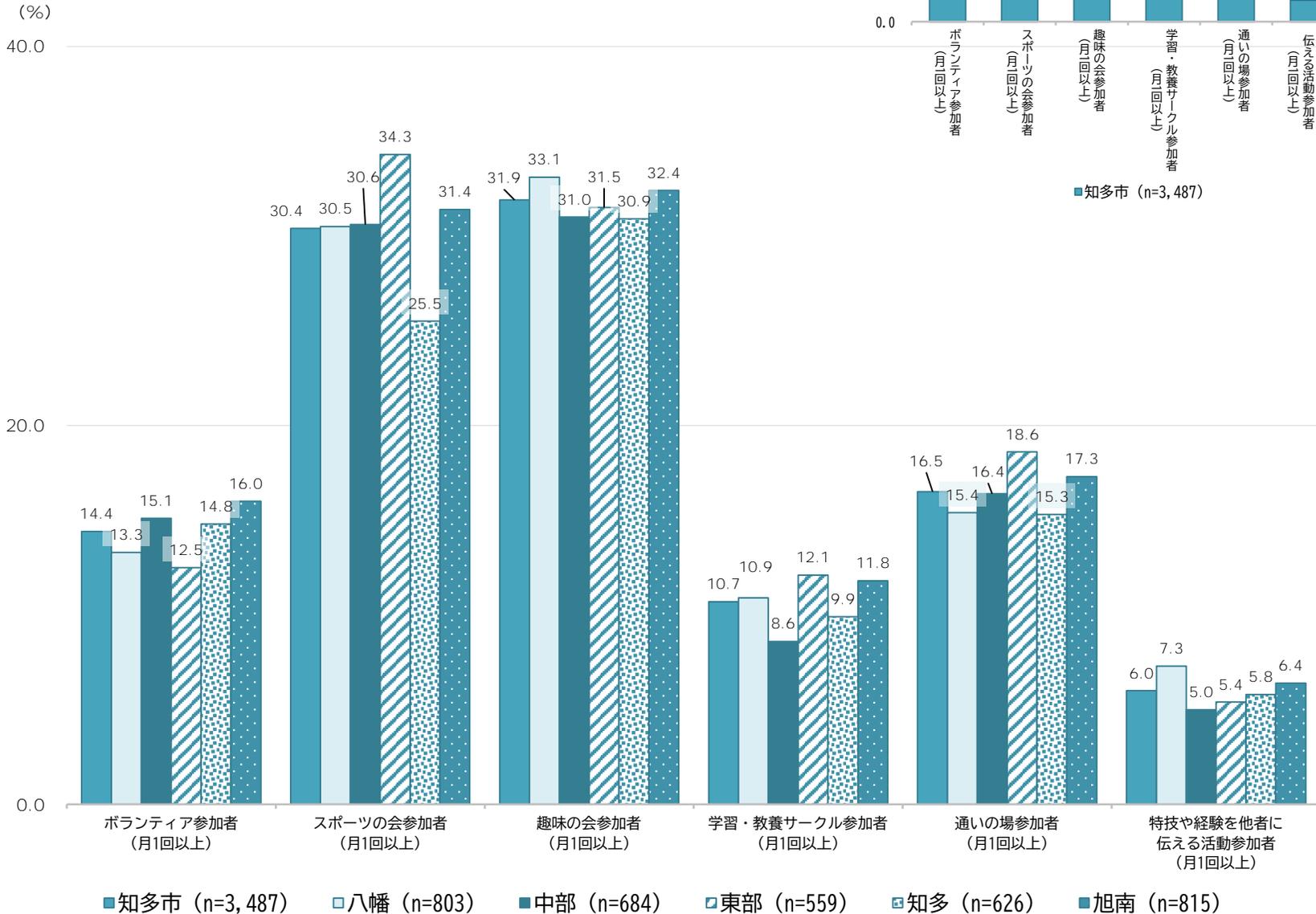
大府市・日常生活圏域別



- 大府市の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が31.1%、「スポーツの会参加者」が30.9%、「ボランティア参加者」が15.5%、「通いの場参加者」が15.0%、「学習・教育サークル参加者」が9.8%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が7.2%となっている。
- 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、大府中が32.1%で最も高くなっており、最も低い大府北（28.4%）と比較して3.7ポイントの差がある。
- 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、大府南が33.0%で最も高くなっており、最も低い大府北（26.8%）と比較して6.2ポイントの差がある。
- 「ボランティア参加者」を圏域別にみると、大府中が16.8%で最も高くなっており、最も低い大府北（13.3%）と比較して3.5ポイントの差がある。
- 「通いの場参加者」について、大府市では前回調査結果が16.0%であり、今回調査（15.0%）は前回より1.0ポイント下回っている。
- 「通いの場参加者」を圏域別にみると、大府西が17.5%で最も高くなっており、最も低い大府北（11.6%）と比較して5.9ポイントの差がある。

社会参加の状況(知多市)

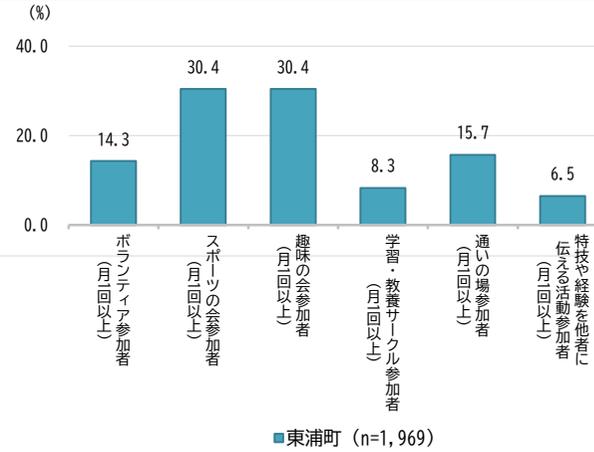
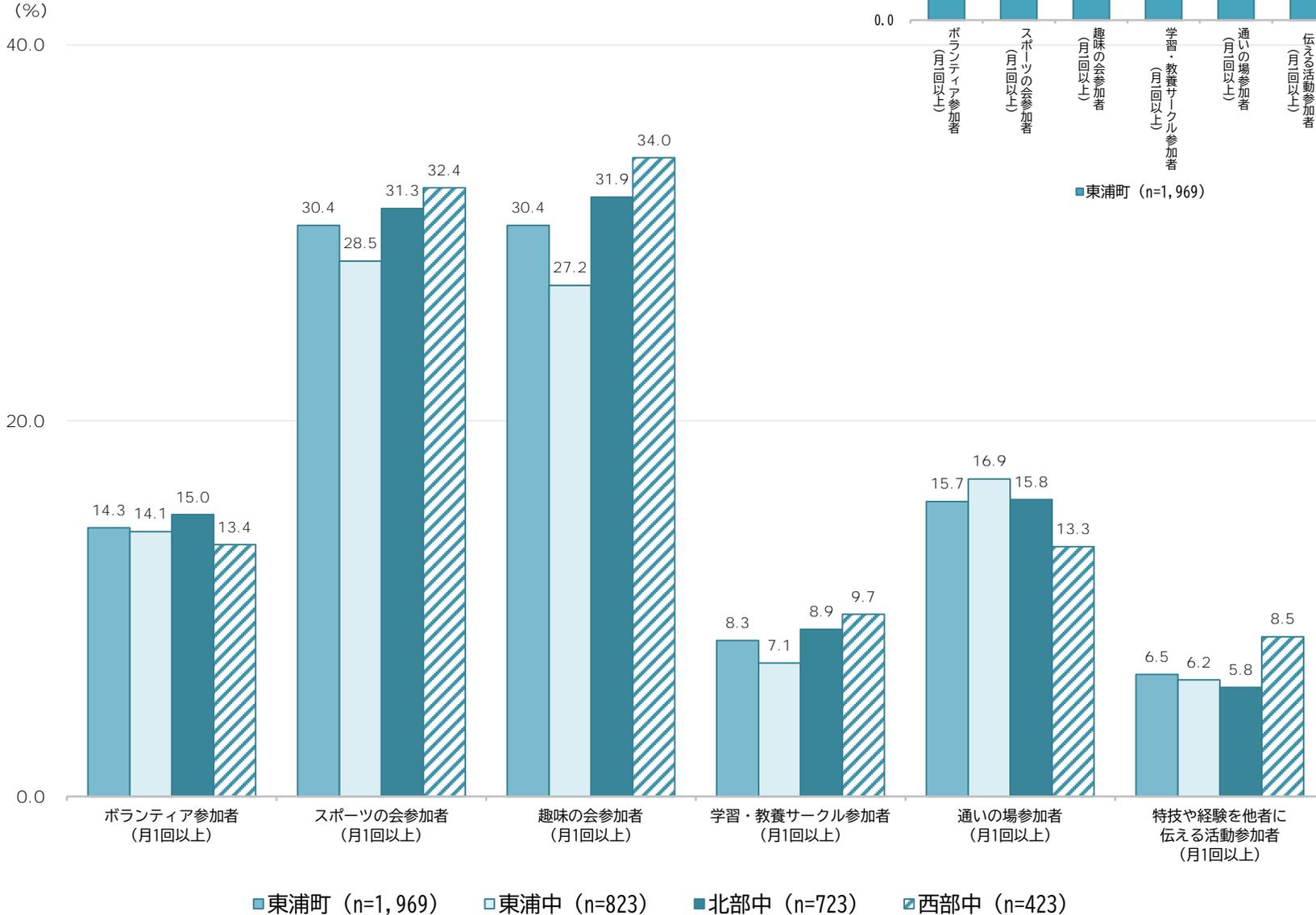
知多市・日常生活圏域別



- 知多市の社会参加の状況は、高い順に「趣味の会参加者」が31.9%、「スポーツの会参加者」が30.4%、「通いの場参加者」が16.5%、「ボランティア参加者」が14.4%、「学習・教育サークル参加者」が10.7%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が6.0%となっている。
- 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、八幡が33.1%で最も高くなっており、最も低い知多(30.9%)と比較して2.2ポイントの差がある。
- 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、東部が34.3%で最も高くなっており、最も低い知多(25.5%)と比較して8.8ポイントの差がある。
- 「通いの場参加者」を圏域別にみると、東部が18.6%で最も高くなっており、最も低い知多(15.3%)と比較して3.3ポイントの差がある。
- 「通いの場参加者」について、知多市では前回調査結果が14.7%であり、今回調査(16.5%)は前回より1.8ポイント上回っている。

社会参加の状況(東浦町)

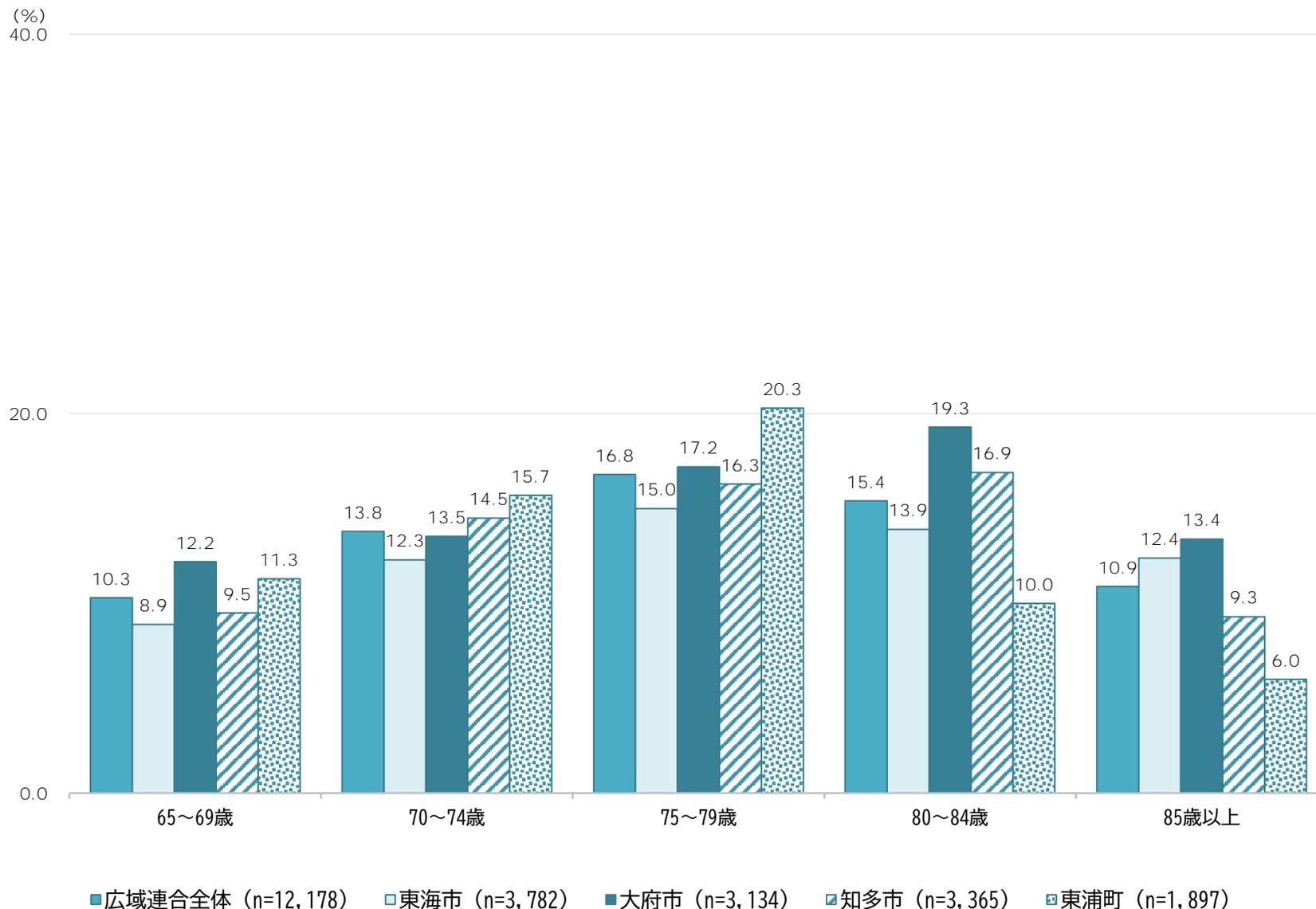
東浦町・日常生活圏域別



- 東浦町の社会参加の状況は、高い順に「スポーツの会参加者」と「趣味の会参加者」がともに30.4%、「通いの場参加者」が15.7%、「ボランティア参加者」が14.3%、「学習・教育サークル参加者」が8.3%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が6.5%となっている。
- 「スポーツの会参加者」を圏域別にみると、西部中が32.4%で最も高くなっており、最も低い東浦中（28.5%）と比較して3.9ポイントの差がある。
- 「趣味の会参加者」を圏域別にみると、西部中が34.0%で最も高くなっており、最も低い東浦中（27.2%）と比較して6.8ポイントの差がある。
- 「通いの場参加者」を圏域別にみると、東浦中が16.9%で最も高くなっており、最も低い西部中（13.3%）と比較して3.6ポイントの差がある。
- 「通いの場参加者」について、東浦町では前回調査結果が15.7%であり、今回調査（15.7%）と同様であった。

社会参加の状況 年齢別

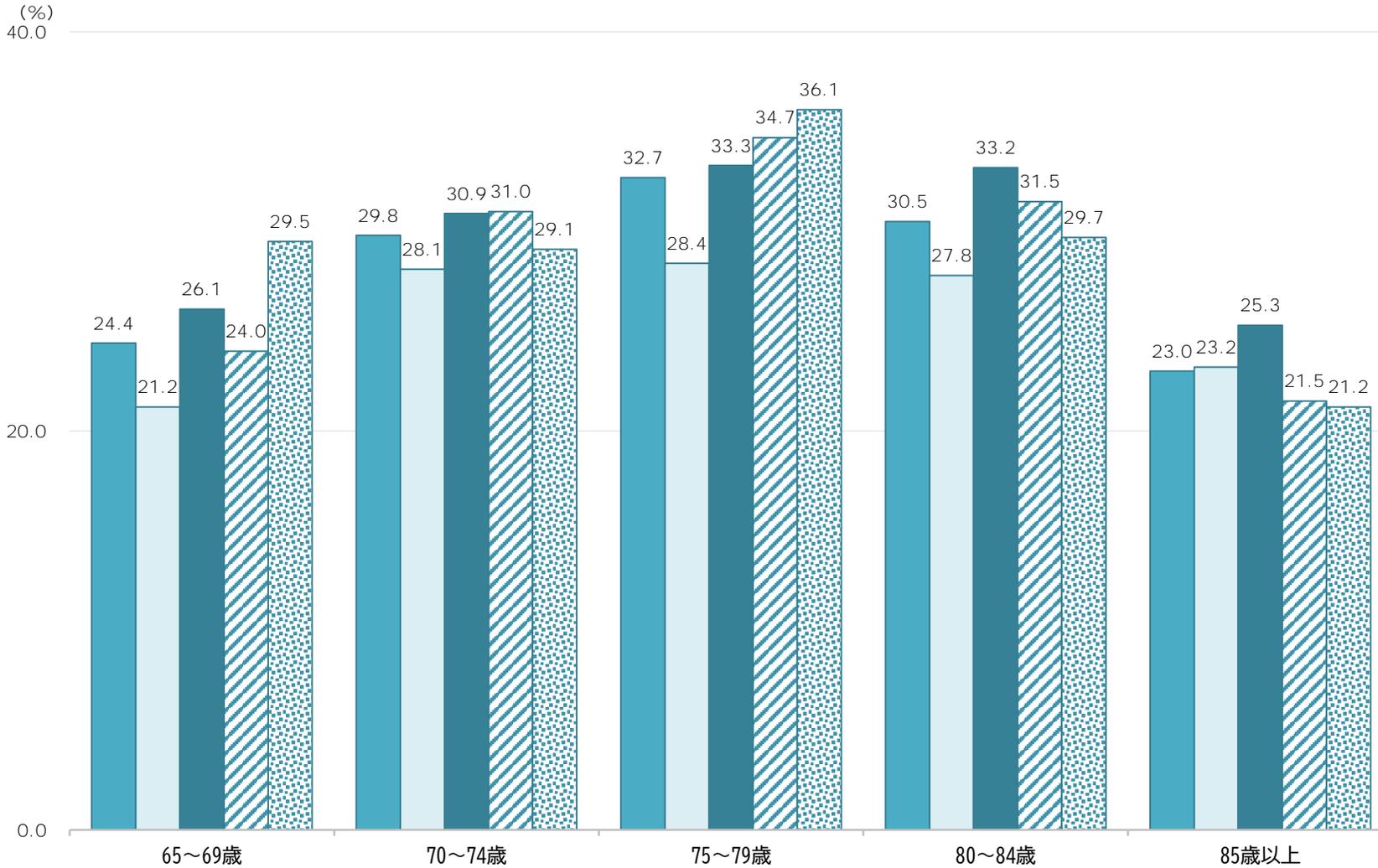
ボランティア参加者（月1回以上） 年齢別



- 「ボランティア参加者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「75-79歳」では16.8%と最も高く、最も低い「65-69歳」では10.3%と6.5ポイントの差がある。
- 東海市は、「75-79歳」が最も高い。「85歳以上」は、知多北部広域連合より高くなっている。
- 大府市は、「80-84歳」が最も高く、知多北部広域連合及び各市町よりも顕著に高い。
- 知多市は、「80-84歳」が最も高く、知多北部広域連合より高い。しかし、「85歳以上」になると、顕著に低下している。
- 東浦町は、「75-79歳」が最も高く、知多北部広域連合及び各市町よりも顕著に高い。しかし、「80歳以降」では、顕著に低くなっている。

社会参加の状況 年齢別

スポーツの会参加者（月1回以上） 年齢別

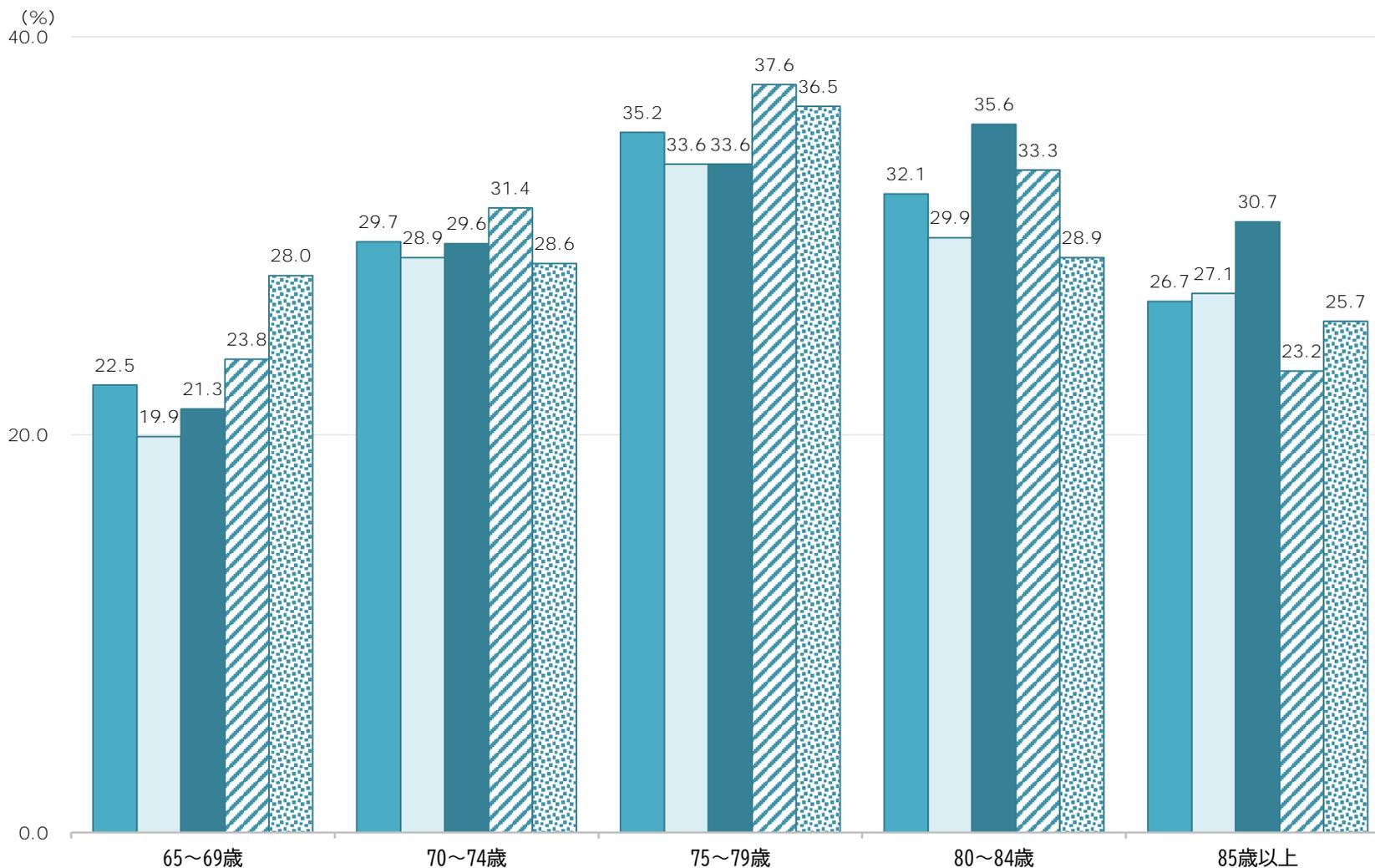


- 「スポーツの会参加者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「75~79歳」では32.7%と最も高く、最も低い85歳以上では23.0%と9.7ポイントの差がある。
- 各市町ともほぼ、知多北部広域連合と同様の傾向である。
- 東海市は、「84歳まで」は、知多北部広域連合及び各市町より低くなっている。
- 大府市は、どの年代も知多北部広域連合より高く、「80歳以降」は、他市町よりも高い。
- 知多市は、知多北部広域連合と同様となっている。
- 東浦町は、「75~79歳」、「65~69歳」で知多北部広域連合より高くなっている。しかし、「80歳以降」は知多北部広域連合より低くなっている。

■ 広域連合全体 (n=12,226) □ 東海市 (n=3,797) ■ 大府市 (n=3,143) □ 知多市 (n=3,381) □ 東浦町 (n=1,905)

社会参加の状況 年齢別

趣味の会参加者（月1回以上） 年齢別

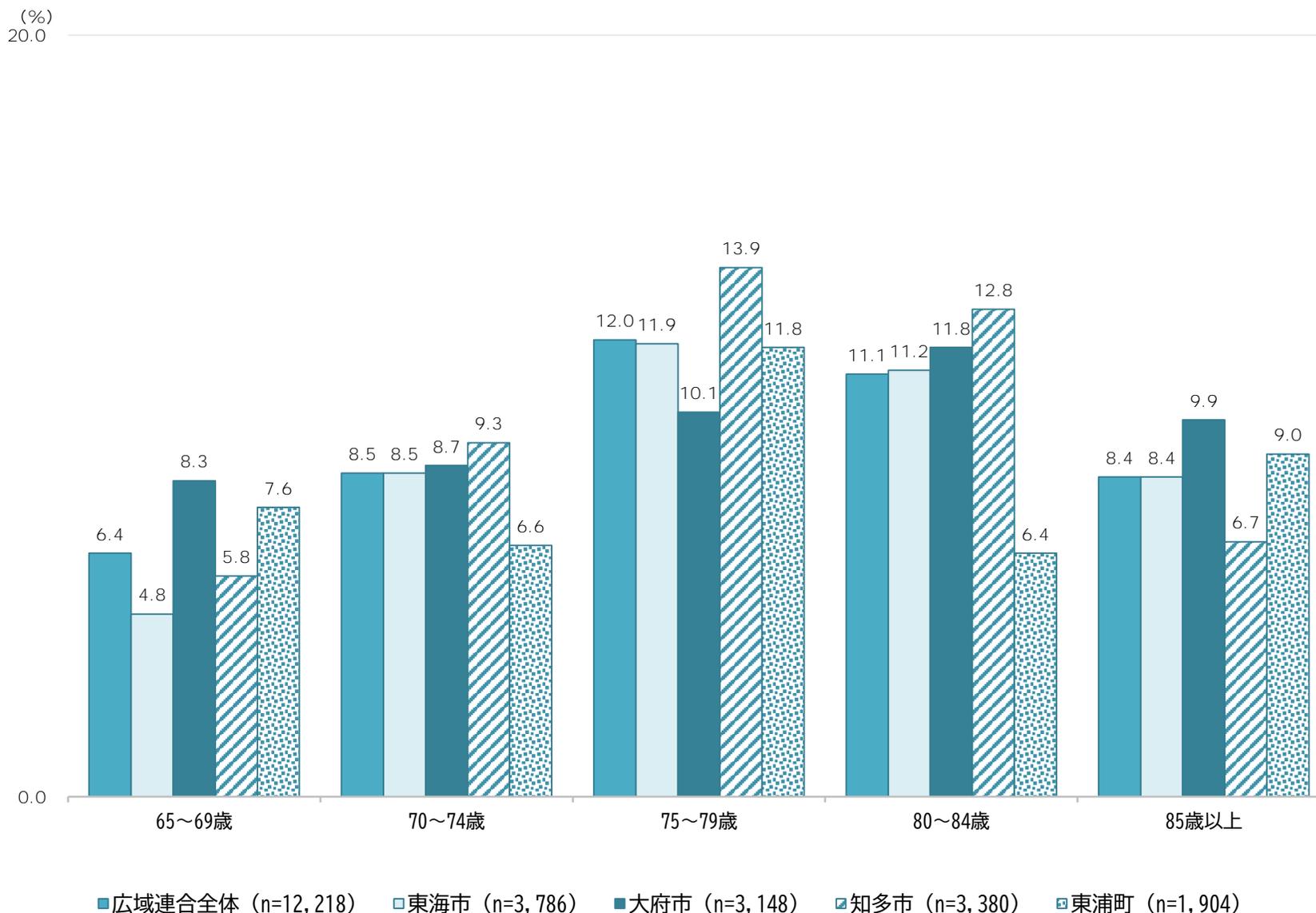


■ 広域連合全体 (n=12,226) □ 東海市 (n=3,797) ■ 大府市 (n=3,144) ▨ 知多市 (n=3,380) ▩ 東浦町 (n=1,905)

- 「趣味の会参加者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「75-79歳」では35.2%と最も高く、最も低い「65-69歳」では22.5%と12.7ポイントの差がある。
- 東海市、知多市、東浦町は知多北部広域連合と同様で「75-79歳」が最も高いが、大府市は「80-84歳」が最も高くなっている。
- 東海市は、「85歳以上」が知多北部広域連合を若干高いが、他の年代は全て知多北部広域連合より低くなっている。
- 大府市は、「80歳以上」になると、知多北部広域連合及び他市町より、顕著に高くなっている。
- 知多市は、「84歳まで」は、知多北部広域連合より高いが、「85歳以上」になると、知多北部広域連合及び他市町より顕著に低くなる。
- 東浦町は、「65-69歳」では、知多北部広域連合及び他市町より、顕著に高くなっている。

社会参加の状況 年齢別

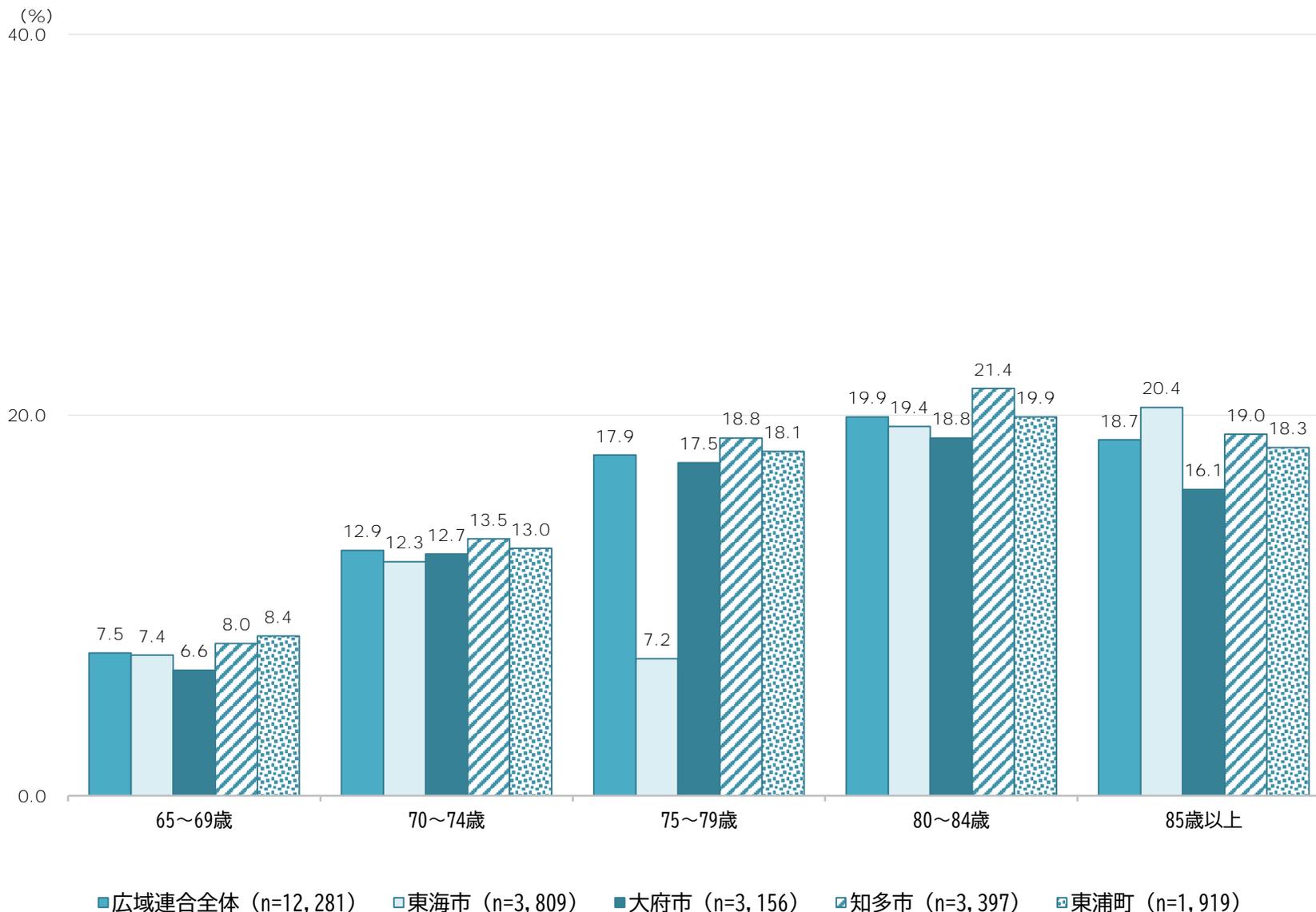
学習・教養サークル参加者（月1回以上） 年齢別



- 「学習・教養サークル割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「75-79歳」では12.0%と最も高く、最も低い「65-69歳」では6.4%と5.6ポイントの差がある。
- 東海市、知多市、東浦町は知多北部広域連合と同様に「75-79歳」が最も高いが、大府市は「80-84歳」が最も高くなっていた。
- 東海市は、「65-69歳」が知多北部広域連合及び他市町よりも顕著に低くなっている。
- 大府市は、「75-79歳」を除く年代では、知多北部広域連合より高くなっており、特に「65-69歳」、「85歳以上」が高くなっている。反対に「75-79歳」では、知多北部広域連合及び他市町より顕著に低くなっている。
- 知多市は、「70-84歳」が知多北部広域連合及び他市町より高くなっている。特に「75-79歳」が顕著に高い。
- 東浦町は、「80-84歳」が知多北部広域連合及び他市町よりも顕著に低くなっている。

社会参加の状況 年齢別

通いの場参加者（月1回以上） 年齢別

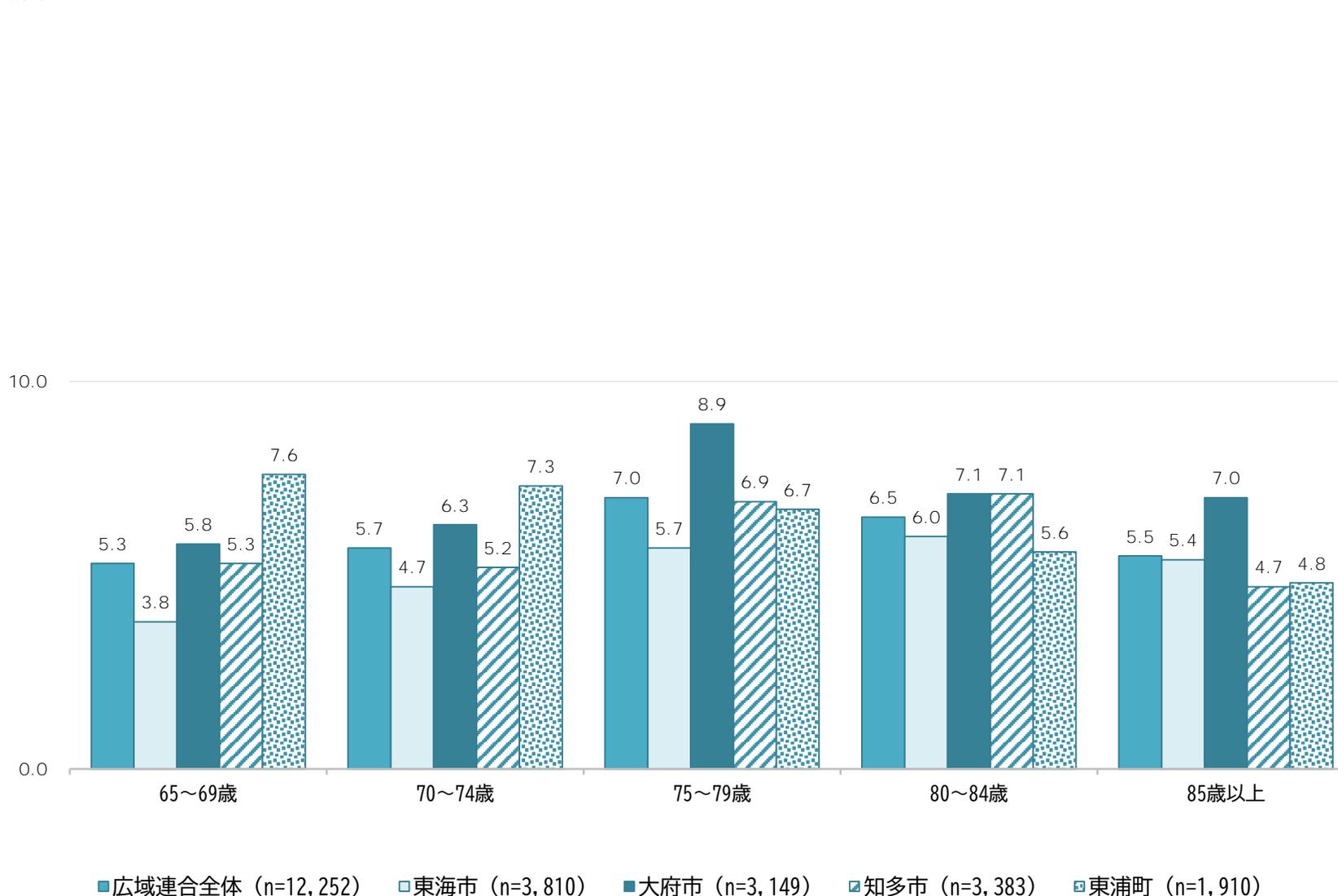


- 「通いの場参加者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「80～84歳」では19.9%と最も高く、最も低い「65～69歳」では7.5%と12.4ポイントの差がある。
- 各市町とも知多北部広域連合と同様の傾向であった。
- 東海市は、「85歳以上」では、知多北部広域連合及び他市町より高くなっているが、他の年代は知多北部広域連合より低くなっている。特に「75～79歳」は、知多北部広域連合及び他市町よりも顕著に低くなっている。
- 大府市は、どの年代も知多北部広域連合より低くなっている。特に「85歳以上」は、他市町よりも顕著に低くなっている。
- 知多市は、どの年代も知多北部広域連合より高くなっている。特に「80～84歳」は他市町より高くなっている。
- 東浦町は、「65～79歳」で知多北部広域連合より高くなっている。

社会参加の状況 年齢別

特技や経験を他者に伝える活動参加者（月1回以上） 年齢別

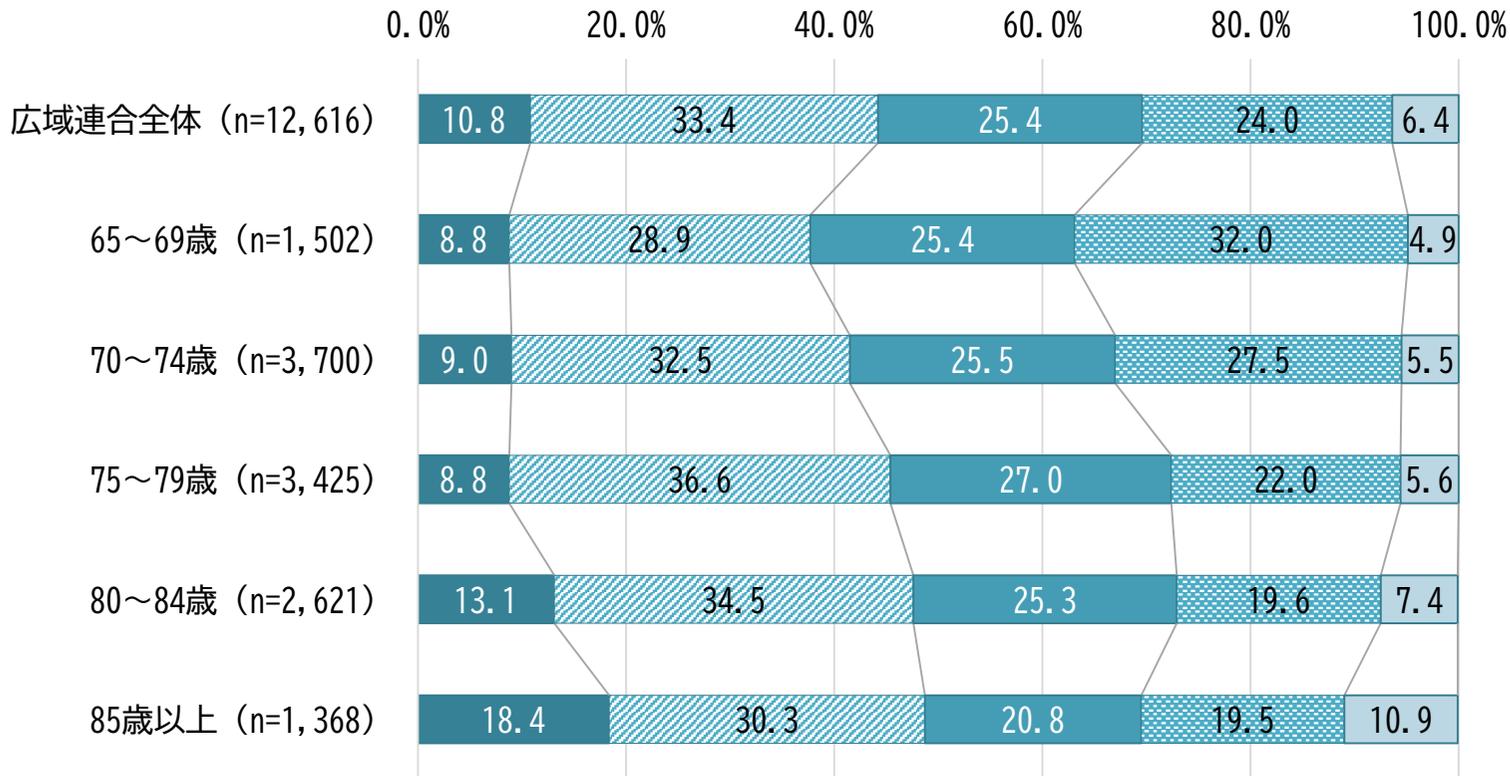
26%



- 「特技や経験を他者に伝える活動参加者割合」を知多北部広域連合で年齢別にみると、「75-79歳」では7.0%と最も高く、最も低い「65-69歳」では5.3%と1.7ポイントの差がある。
- 東海市は、どの年代も知多北部広域連合より低くなっている。
- 大府市は、どの年代も知多北部広域連合より高くなっており、特に「75-79歳」では他市町よりも顕著に高くなっている。
- 知多市は、どの年代も知多北部広域連合ほぼ同様である。
- 東浦町は、「65-74歳」が、知多北部広域連合及び他市町より顕著に高い。年齢が上がるにつれて、参加状況は低くなっている。

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 広域連合全体 年齢別

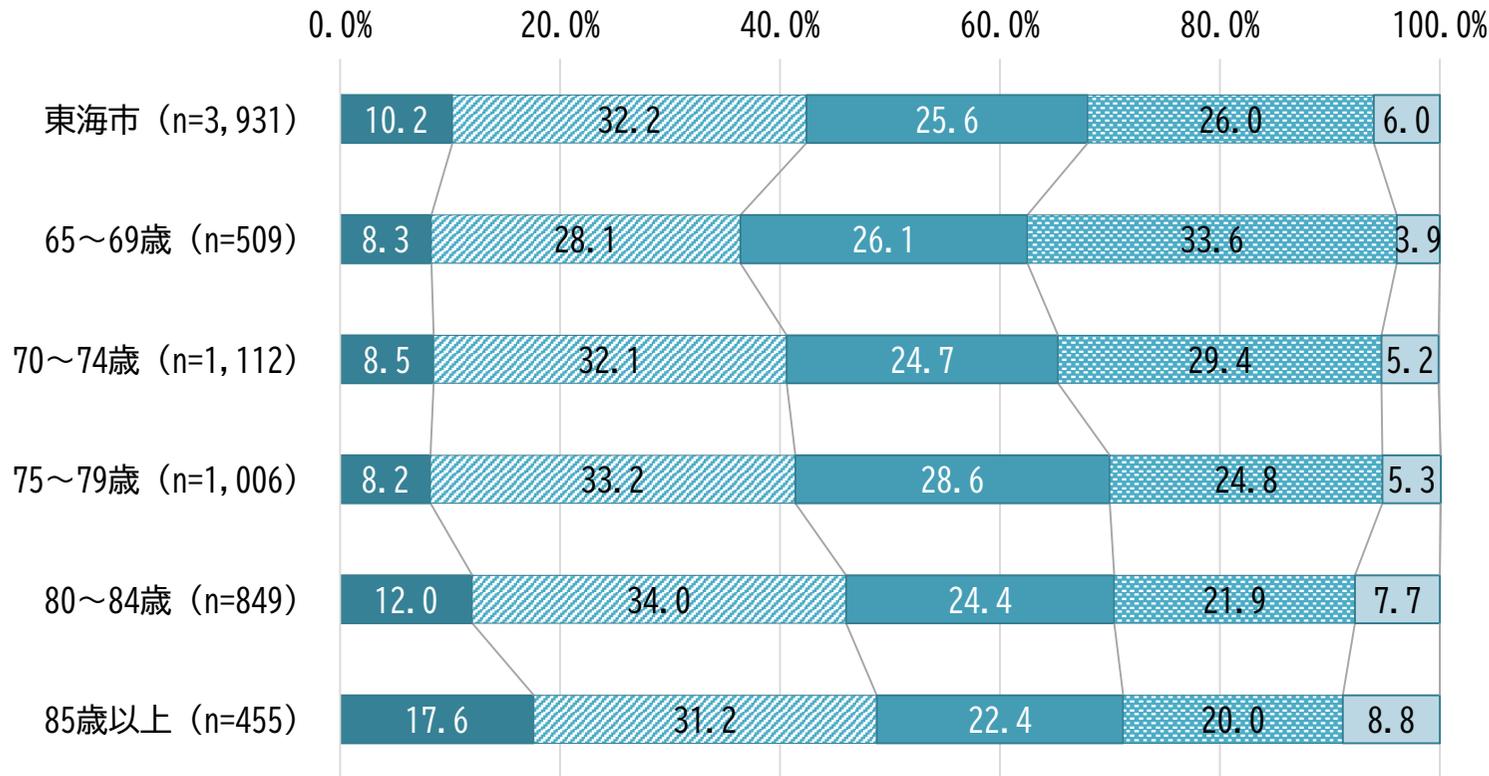


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を年齢別にみると、知多北部広域連合全体では「利用したことがある」が最も高いのは85歳以上（18.4%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは75～79歳（36.6%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは75～79歳（27.0%）、「全く知らない」が最も高いのは65～69歳（32.0%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（東海市）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 東海市 年齢別

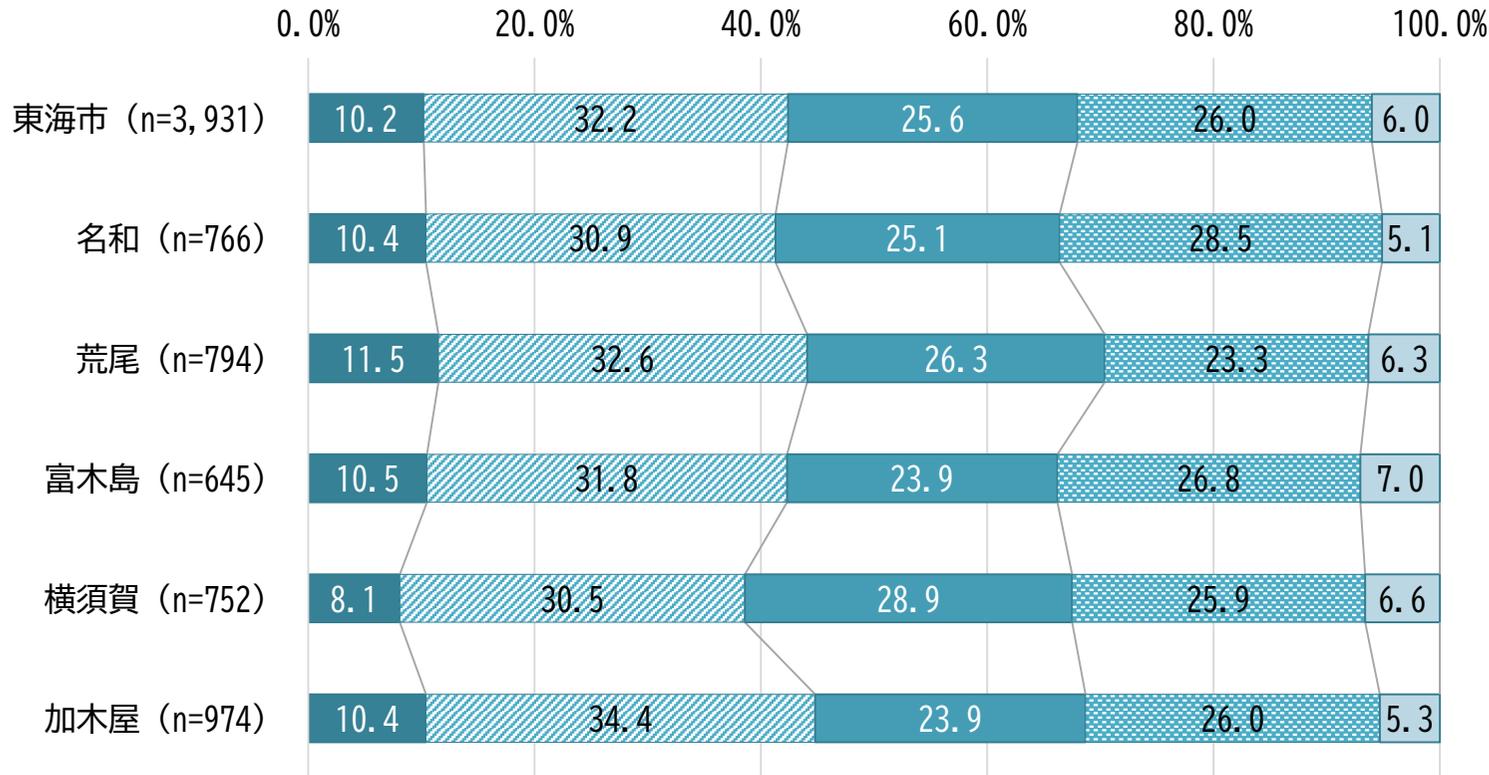


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を年齢別にみると、東海市では「利用したことがある」が最も高いのは85歳以上（17.6%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは80～84歳（34.0%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは75～79歳（28.6%）、「全く知らない」が最も高いのは65～69歳（33.6%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（東海市）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 東海市 日常生活圏域別

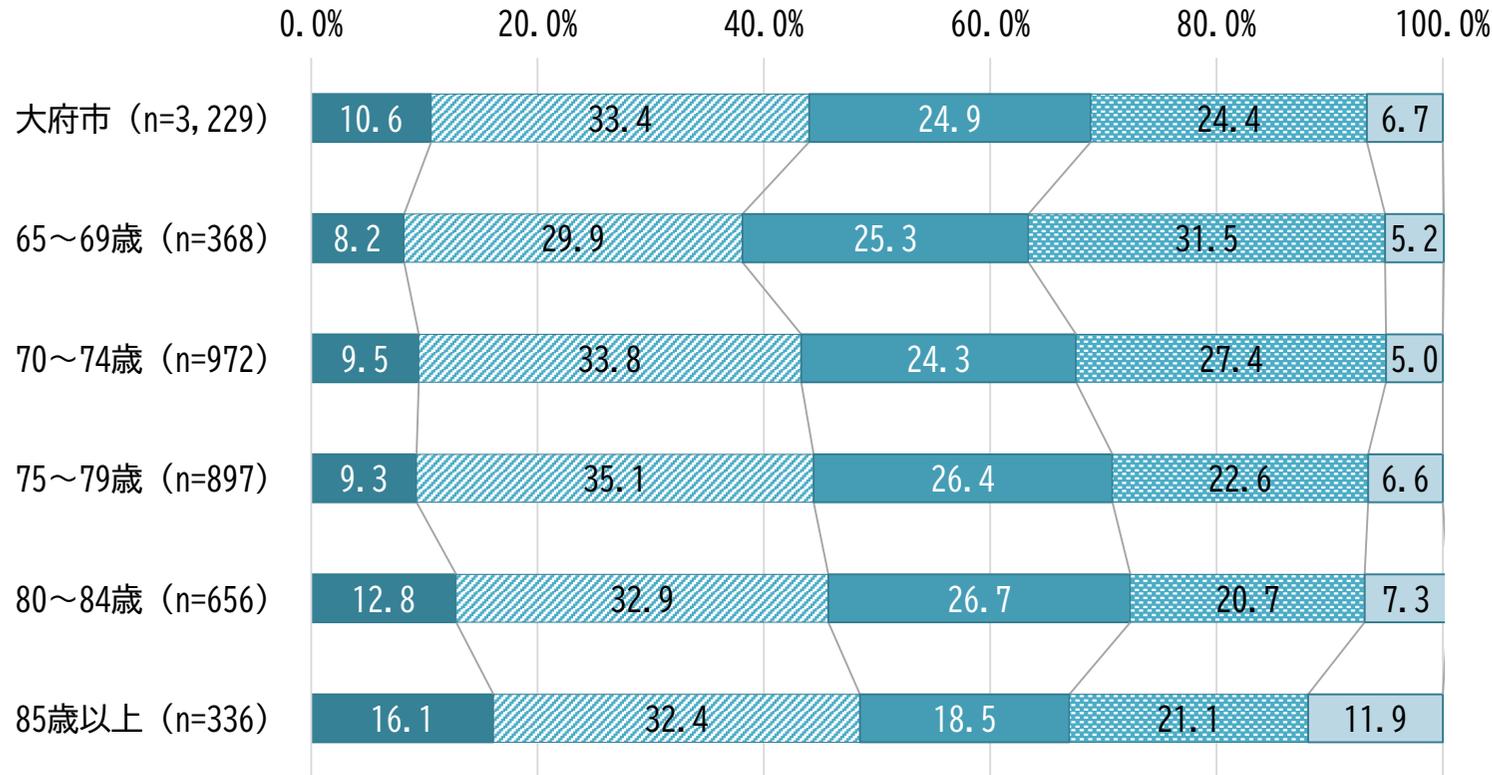


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を圏域別にみると、東海市では「利用したことがある」が最も高いのは荒尾（11.5%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは加木屋（34.4%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは横須賀（28.9%）、「全く知らない」が最も高いのは名和（28.5%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（大府市）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 大府市 年齢別

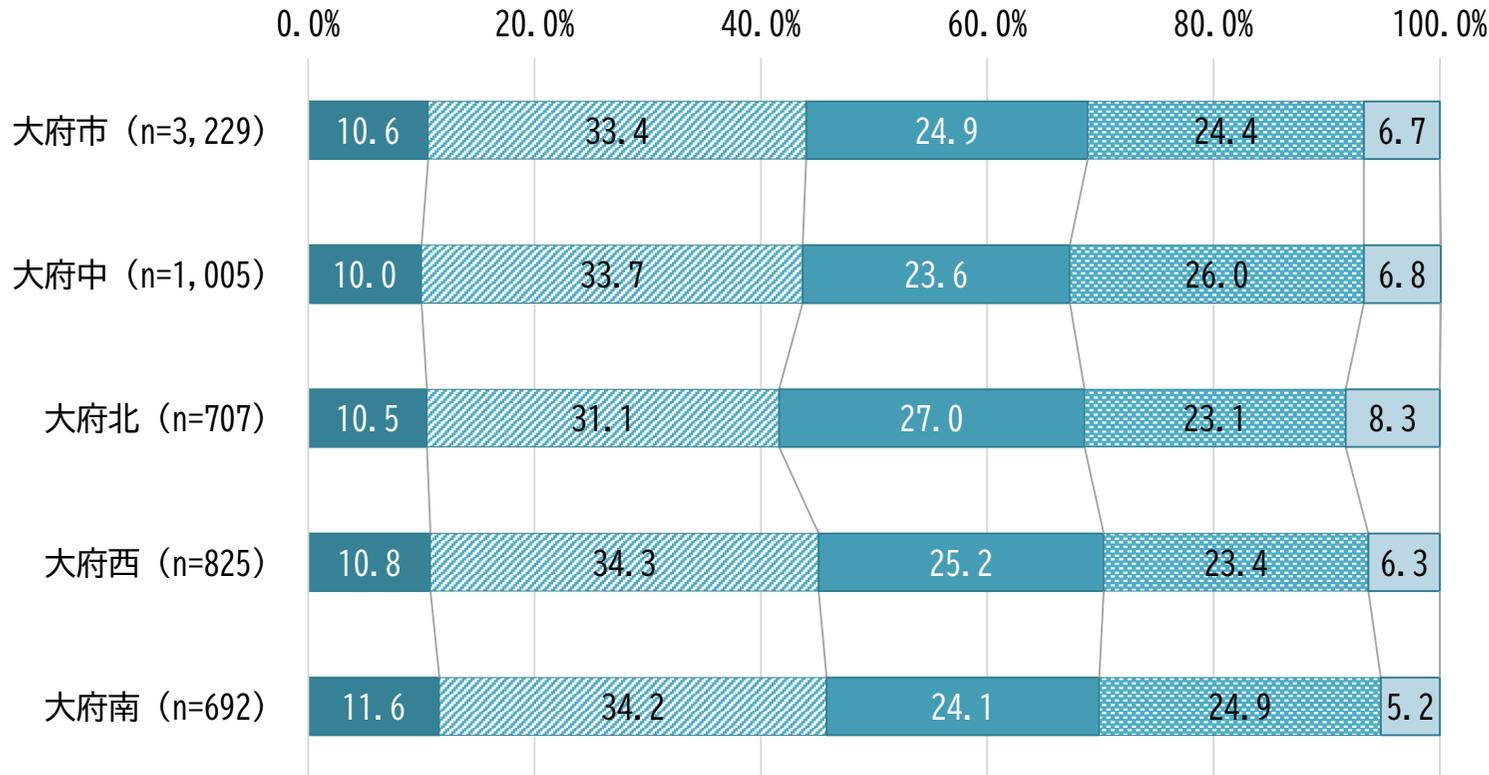


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を年齢別にみると、大府市では「利用したことがある」が最も高いのは85歳以上（16.1%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは75～79歳（35.1%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは80～84歳（26.7%）、「全く知らない」が最も高いのは65～69歳（31.5%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（大府市）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 大府市 日常生活圏域別

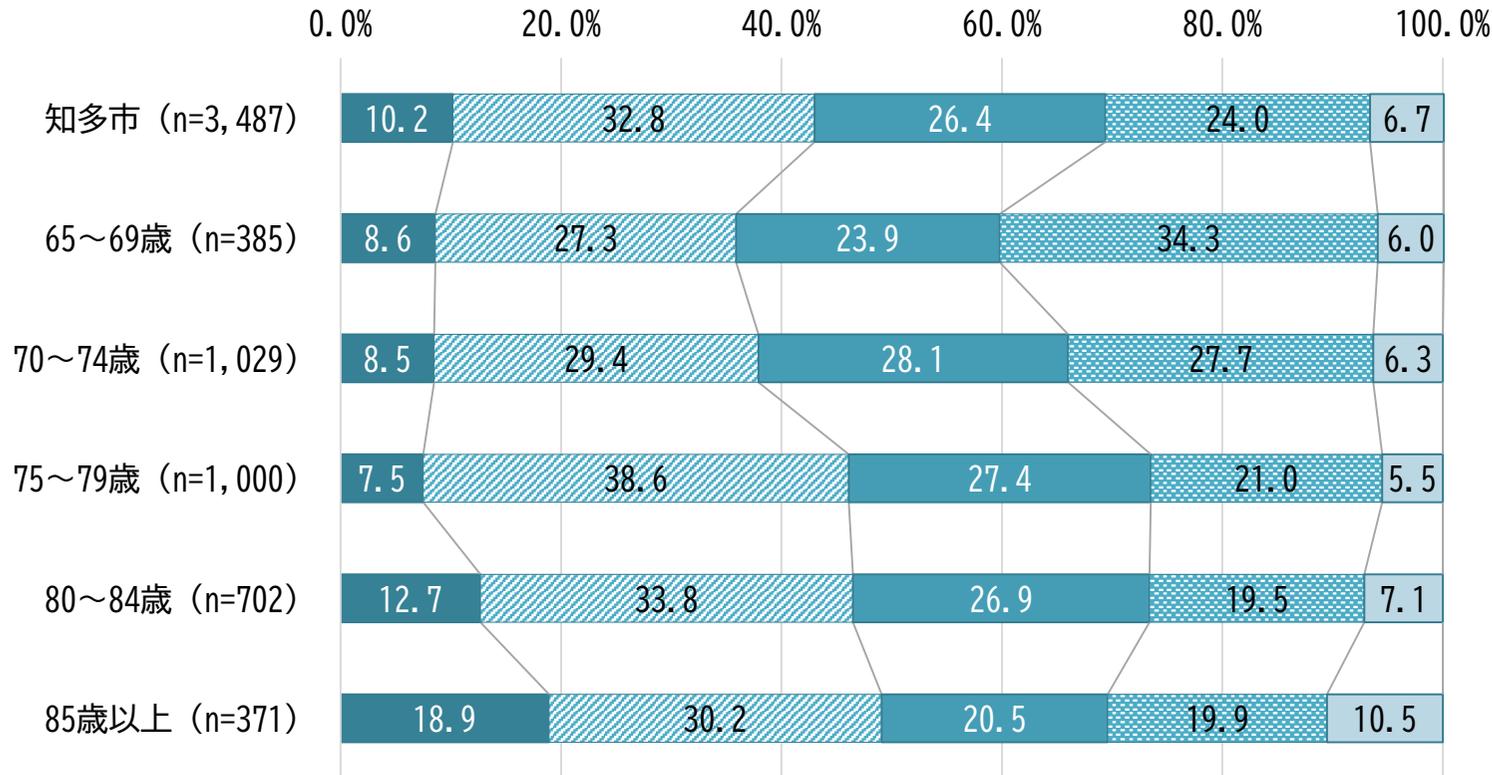


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を圏域別にみると、大府市では「利用したことがある」が最も高いのは大府南（11.6%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは大府西（34.3%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは大府北（27.0%）、「全く知らない」が最も高いのは大府中（26.0%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（知多市）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 知多市 年齢別

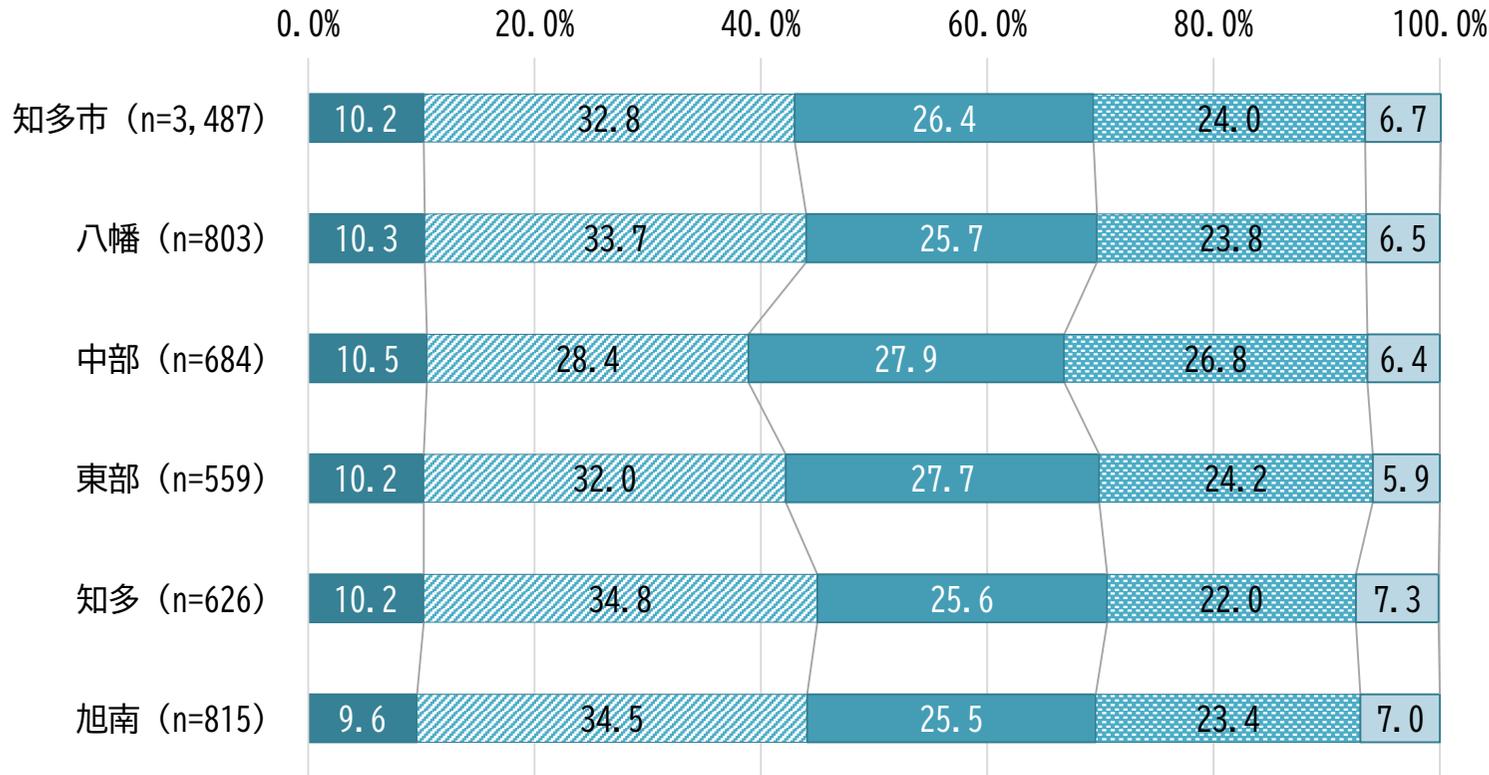


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を年齢別にみると、知多市では「利用したことがある」が最も高いのは85歳以上（18.9%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは75～79歳（38.6%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは70～74歳（28.1%）、「全く知らない」が最も高いのは65～69歳（34.3%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（知多市）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 知多市 日常生活圏域別

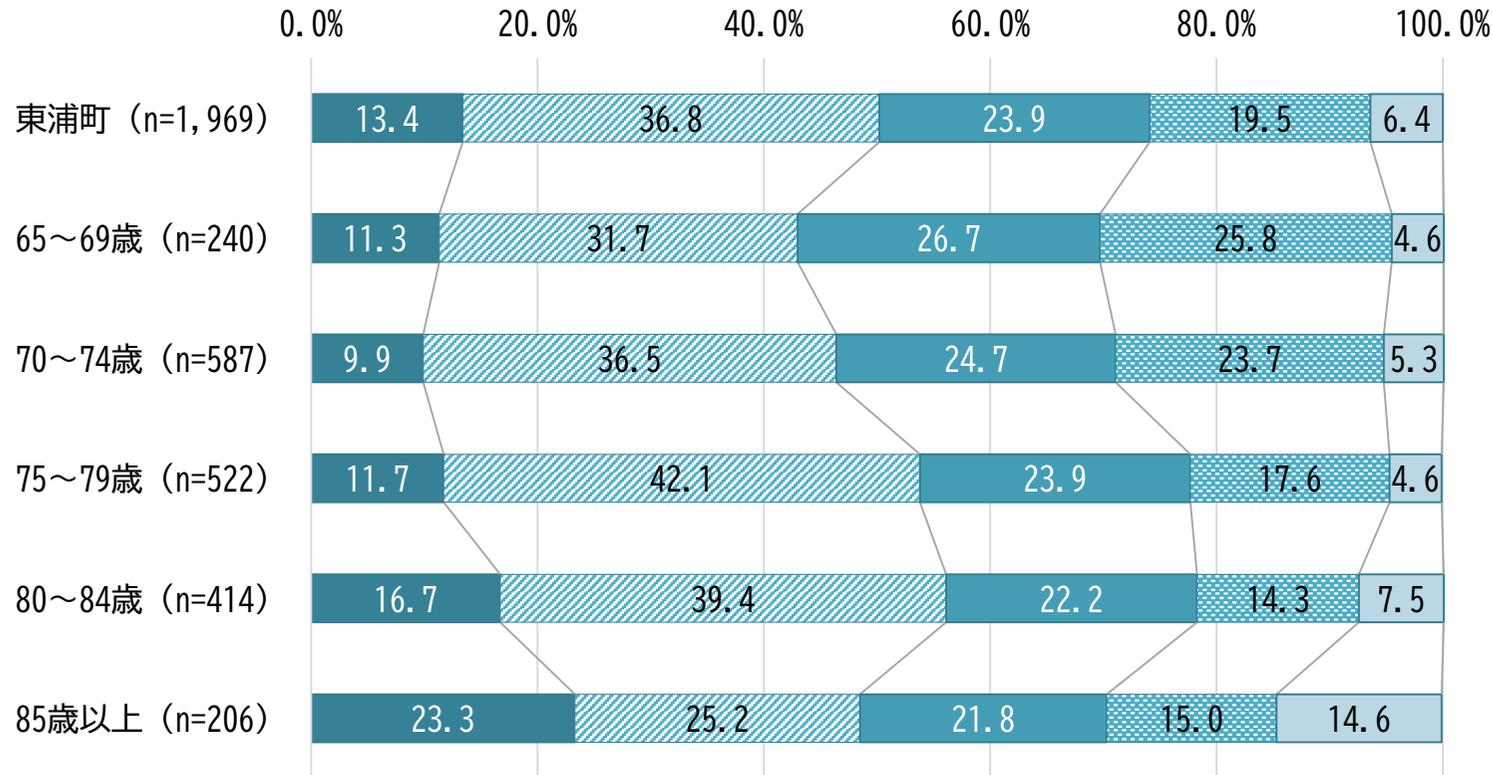


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を圏域別にみると、知多市では「利用したことがある」が最も高いのは中部（10.5%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは知多（34.8%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは中部（27.9%）、「全く知らない」が最も高いのは中部（26.8%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（東浦町）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 東浦町 年齢別

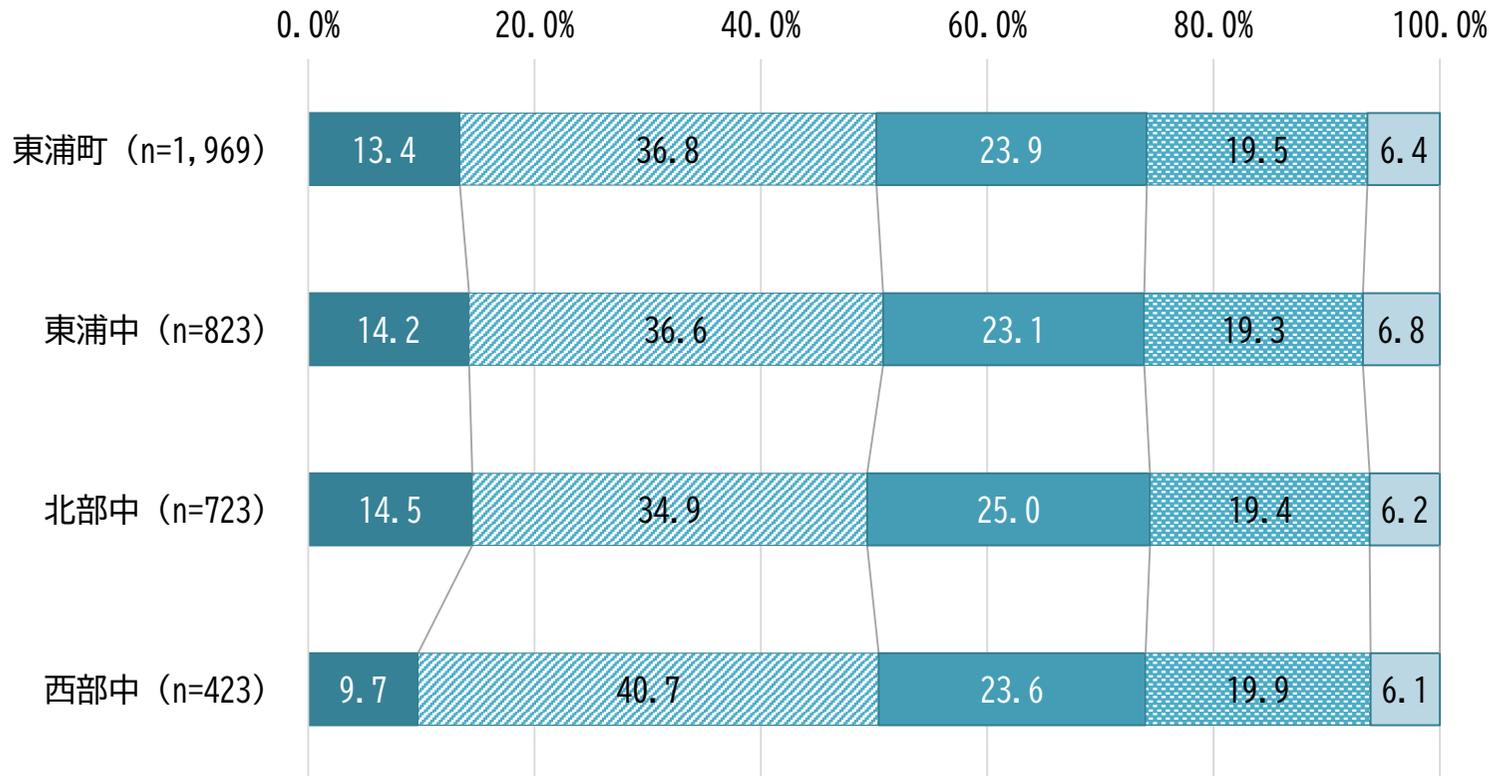


□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を年齢別にみると、東浦町では「利用したことがある」が最も高いのは85歳以上（23.3%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは75～79歳（42.1%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは65～69歳（26.7%）、「全く知らない」が最も高いのは65～69歳（25.8%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について（東浦町）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度 東浦町 日常生活圏域別



□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度を圏域別にみると、東浦町では「利用したことがある」が最も高いのは北部中（14.5%）、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が最も高いのは西部中（40.7%）、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が最も高いのは北部中（25.0%）、「全く知らない」が最も高いのは西部中（19.9%）となっている。

- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

1: ■ 上位2割 2: ■ 上位から2~4割 3: □ 中位4~6割 4: ■ 下位から2~4割 5: ■ 下位2割

緑色が濃いほど順位が良い

要介護のリスクの状況										社会参加の状況					
フレイルあり割合	運動機能低下者割合	1年間の転倒あり割合	物忘れが多い者の割合	閉じこもり者割合	(GDS5点以上)うつ割合	口腔機能低下者割合	低栄養者割合	認知機能低下者割合	IADL(自立度)低下者割合	ボランテニア参加者(月1回以上)割合	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	趣味の会参加者(月1回以上)割合	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	通いの場参加者(月1回以上)割合	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合
高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体
2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022

1. 調査参加自治体間での順位 (75自治体)

東海市全体	2	2	1	1	1	2	3	2	4	2	2	1	1	1	2	2
大府市全体	1	1	1	1	1	2	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1
知多市全体	1	1	1	2	1	2	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1
東浦町全体	1	1	1	4	1	2	3	4	2	1	1	1	2	1	1	1

* 「健康とくらしの調査」参加75自治体のなかで、知多北部広域連合の構成市町は、ほとんどの項目が上位に位置している。

2. 知多北部広域連合管内での順位

東海市	名和	4	5	2	5	1	5	2	5	1	3	3	5	5	5	5	5
	荒尾	4	5	4	3	3	3	5	4	5	4	3	4	5	4	4	3
	富木島	5	4	5	4	1	5	5	1	4	4	4	5	3	3	4	5
	横須賀	5	5	4	5	1	4	5	5	2	5	5	4	2	5	2	4
	加木屋	3	2	4	1	2	4	1	5	3	5	3	4	5	5	5	5
大府市	大府中	3	3	2	3	4	3	4	2	3	1	1	1	1	2	2	1
	大府北	3	3	3	3	2	5	3	2	4	2	2	5	4	2	1	4
	大府西	1	2	1	2	5	1	3	1	3	2	5	2	1	1	3	2
	大府南	2	1	1	1	5	1	4	2	1	1	2	3	1	1	1	1
知多市	八幡	2	1	3	2	3	3	1	3	5	4	1	1	3	1	1	2
	中部	1	2	1	5	3	1	4	1	5	1	5	3	2	5	4	1
	東部	1	1	2	2	5	2	1	5	1	5	1	2	5	4	3	4
	知多	5	5	5	4	1	5	5	3	5	3	2	3	3	4	2	3
	旭南	4	4	5	1	4	4	3	1	2	2	1	1	1	2	1	1
東浦町	東浦中	5	1	5	4	2	2	2	4	2	3	5	5	4	3	5	3
	北部中	2	4	3	5	5	1	2	3	4	1	4	2	2	3	5	2
	西部中	1	3	1	1	4	2	1	4	1	5	4	1	4	1	3	5

* 知多北部広域連合管内で圏域ごとに順位をつけると、東海市は、要介護のリスク状況、社会参加の状況ともにどの項目も順位が低い傾向にあり、「フレイルあり」についてはどの地区でも順位が低い。大府市は、どの地区も順位が高い傾向にあるが特に大府南がいずれの項目も順位が高い。知多市は、知多や旭南が要介護のリスク状況のいずれの項目も順位が低い傾向にある。東浦町は「物忘れの多い者」について、どの地区も順位が低い。